

~~~~~  
**日本分析化学会第 69 年会**  
**参加者・発表者の皆様へ**  
~~~~~

主催 (公社) 日本分析化学会

会期 2020 年 9 月 16 日 (水) ~18 日 (金) オンライン

日程 9 月 16 日 (水): 一般講演 (口頭), 若手講演 (ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, ランチタイムセミナー

9 月 17 日 (木): 一般講演 (口頭, ポスター), テクノレビュー講演 (口頭, ポスター), 若手講演 (ポスター), 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, 学会賞受賞講演

9 月 18 日 (金): 一般講演 (口頭, ポスター), テクノレビュー講演 (ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, 特別シンポジウム, オンライン交流会, (ジョイント開催) ものづくり技術交流会

会場 インターネットを利用したオンライン開催

交流会 9 月 18 日 (金) 18 時~20 時

同会場 オンライン開催 (年会 P 会場)

年会参加登録者はどなたでも参加できます (参加費無料)

**【通常参加登録料 (9 月 15 日 14 時まで受付)】**

会員 12,000 円, 学生会員 4,500 円, 非会員 18,000 円 (税込), 非会員学生 6,000 円 (税込)

※会員には団体会員 (維持会員) に所属する方を含みますが, 特別会員及び公益会員の場合は, 1 名に限り会員扱いとなります。

**【ご注意】**

・会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外, 会員外学生は税込金額です。

**《Web 版講演要旨集の閲覧について》**

参加登録を済ませられた皆様:

9 月 2 日以降, 参加登録番号と参加申込に使用されたメールアドレスで閲覧・ダウンロードができます。

**【ご注意】**

- ・本年会へ参加登録をされた皆様は, 10 月 18 日 (日) 14 時まで閲覧・ダウンロードが可能です。10 月 18 日以降は閲覧できません。
- ・スマートフォン等の機種では正しく表示されない場合があります。ご了承ください。

**【発表者へのご案内】**

- ・口頭発表は, オンラインによるビデオ会議システム "Webex Meetings" を用いたリアルタイム配信にて行います。質疑応答も行います。従来の会場に相当する会議室を会場ごとに開設してリアルタイム配信を行います。
- ・ポスター発表は "Remo" を用いて行います。講演者はポスターを画面共有により, 細部を拡大しながら説明・質疑応答を行います。オンラインでのポスター内容の把握をサポートするため, 希望する発表者には, ポスターの学会開催期間内 (または会期終了後一定期間) を通して掲

示するオプションも提供する予定です。

※その他詳細は年会 HP を参照ください。

**《注意事項》**

- 1) ご自宅・大学・職場などからの発表になります。カメラ・マイク付きのパソコン (スマートフォン、タブレット不可)、有線接続あるいは高速な Wi-Fi 接続が必要です。パソコンから流れる音をマイクが拾って時間差で流れることがありますので, 発表者はイヤフォンを利用するようにしてください。
- 2) 実行委員会では, 講演に用いるデータの保護に最大限の努力をいたしますが, 講演画面のスクリーンショット撮影、音声の録音などを完全に防ぐことは困難です。オンライン発表の際には, これらをご理解の上, ご対応いただきますようお願いいたします。

**【講演要旨集の発行日について】**

日本分析化学会第 69 年会 Web 版講演要旨集の発行日 (公知日) は, 2020 年 9 月 2 日です。特許出願の際は, 下記の特許庁ホームページを参照のうえ, 専門家である弁理士にご相談いただきますようお願いいたします。

なお, 講演発表者の特許出願にあたり, 特許法第 30 条 1 項 (発明の新規性喪失の例外) の適用を受けるための手続きが簡素化されています。

詳細は下記の特許庁ホームページを参照ください。

<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>

**【学会賞講演】**

日時 9 月 17 日 (木) 14 時 45 分~16 時 55 分

会場 オンライン (A 会場)

座長 尾崎 幸洋

A2006 (14:45~15:25) 多角入射分解分光法の開発と実用化 (京大化研) 長谷川 健

座長 竹中 繁織

A2007 (15:30~16:10) ナノ空間包接場およびナノ構造体を用いる超分子分析試薬の開発 (上智大理工) 早下 隆士

座長 高貝 慶隆

A2008 (16:15~16:55) プラズマ質量分析に基づく地球メタロミクス学の創成 (東大院理) 平田 岳史

**【特別シンポジウム】**

主催 (公社) 日本分析化学会第 69 年会実行委員会

会場 オンライン (A 会場・B 会場)

『マイクロプラスチック分析の現状と課題』

日時 9 月 16 日 (水) 午前 A 会場

『細胞外微粒子の研究を加速する分析化学』

日時 9 月 16 日 (水) 午後 A 会場

『「イメージング」を実現する分析技術』

日時 9月17日(木) 午前 A会場

『高山フォーラム20周年記念シンポジウム』

日時 9月17日(木) 午前 B会場

『授業「分析化学」の実践内容をご紹介します』

日時 9月18日(金) 午前 A会場

『分析化学・またその関連領域をリードする若手研究者シンポジウム』

日時 9月18日(金) 午後 A会場

## 【第69年会への企業協賛】

### 《付設展示会（オンライン版）》

分析化学会 HP 及び年会実行委員会 HP からご覧いただけます。出展製品や技術にご興味ございましたら、掲載の各社連絡先へお気軽にお問い合わせください。

展示期間 8月19日(水)～2か月間(予定)

展示場所

<https://www.i-product.biz/exhibition/jsac-nenkai69/>

出展企業・団体一覧 2020年9月3日現在

(株)朝日ラボ交易/アジレント・テクノロジー(株)/(株)エス・ティ・ジャパン/エレメンター・ジャパン(株)/オルガノ(株)/原子・分子の顕微イメージングプラットフォーム(北海道大学)/ジーエルサイエンス(株)/西進商事(株)/(株)デジタルデータマネジメント/伯東(株)/富士フイルム和光純薬(株)/ミッシェルジャパン(株)LDetek 事業部/(株)リアクト

### 《ランチタイムオンラインセミナー》

〔9月16日(水)〕

【C会場】12:10～12:50 (株)リアクト様

「NMR スペクトル解析ソフトウェア【Mnova】」

【G会場】12:10～12:50 (株)島津製作所様

「新型コロナウイルスへの対策：リモートワーク支援を中心とした島津製作所の取り組みのご紹介」

〔9月17日(木)〕

【C会場】12:40～13:20 JAIMA ジョイントセミナー2020

「機器分析の最新技術ご紹介」

### 《バナー広告》

多数の企業・団体の皆様からご協力いただきました(年会HPをご覧ください)。篤く御礼申し上げます。

問合先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4 (友野本社ビル) (株)明報社(担当:後藤)

〔電話:03-3546-1337, FAX:03-3546-6306〕

E-mail: info@meihosha.co.jp

## 【その他の会合】

[ものづくり技術交流会 2020]

～分析に役立つ基礎技術～

主催 (公社)日本分析化学会分析イノベーション交流会

共催 日本分析化学会第69年会実行委員会

名古屋工業大学産学官金連携機構

名古屋商工会議所

日時 9月18日(金) 13時～17時30分

・日本分析化学会第69年会とジョイント開催のオンライン技術交流会です。Zoomを使用したディスカッションです。

・愛知県の企業のものづくり技術や製品の情報をオンラインで聴講できます。参加費は無料です。

・オンライン個別情報交換会により、視聴者(分析・科学機器メーカー、製薬・鉄鋼・化学・食品・繊維メーカー、大学、公的研究機関等に所属する共同研究に興味のある方々)と個別に交流することも可能です。

・参加申し込み方法等の詳細情報はWEBサイト

<http://bunseki-innovation.net/mono2020> をご参照ください。

## 【各種お問い合わせ先】

### 1. 学会事務局

**会員登録情報の変更、会員ID・パスワードに関する質問及び年会全般**は公益社団法人日本分析化学会事務局へお問い合わせください。

E-mail: online@jsac.or.jp

### 2. 年会ヘルプデスク

**講演申込などWebシステム、参加費納入に関する質問**は年会ヘルプデスクへお問い合わせください。

日本分析化学会第69年会ヘルプデスク

(株)国際文献社内

E-mail: jsac-desk@bunken.co.jp

電話: 03-6824-9368

注) 電話対応時間は土・日曜日、祝日を除く営業日の9時～12時, 13時～17時です。

### 3. 実行委員会

**講演及びオンライン開催方法一般に関する質問**は実行委員会へお問い合わせください。

第69年会実行委員会事務局(名古屋工業大学内)

実行委員長 大谷 肇

E-mail: jsac69nenkai@gmail.com

## 表 彰

### 〔2020 年度学会賞受賞者〕

- 長谷川 健 君 (京都大学化学研究所・教授)  
研究業績 多角入射分解分光法の開発と実用化
- 早下 隆士 君 (上智大学・教授)  
研究業績 ナノ空間包接場およびナノ構造体を用いる超分子分析試薬の開発
- 平田 岳史 君 (東京大学大学院理学系研究科・教授)  
研究業績 プラズマ質量分析に基づく地球メタロミクス学の創成

### 〔2020 年度技術功績賞受賞者〕

- 岡本 幸雄 君 (東洋大学・名誉教授)  
研究業績 高性能大気圧マイクロ波誘導プラズマ生成技術と極微量元素分析装置の開発
- 鈴木 敏之 君 ((国研)水産研究・教育機構水産技術研究所・部長)  
研究業績 下痢性貝毒の機器分析法開発と普及
- 中田 靖 君 ((株)堀場テクノサービス)  
研究業績 共鳴ラマン分光法による単層カーボンナノチューブ解析法の開発

### 〔2020 年度奨励賞受賞者〕

- 小崎 大輔 君 (高知大学教育研究部・講師)  
研究業績 複合分離機構型イオンクロマトグラフィーを用いた多成分同時分離定量法の開発と応用
- 鈴木 哲仁 君 (京都大学農学研究科・助教)  
研究業績 金属周期構造を用いたテラヘルツ帯センサの開発と食の安全に資する光分析分野への展開
- 西島 喜明 君 (横浜国立大学大学院工学研究院・准教授)  
研究業績 高感度気体センシング技術のための中赤外プラズマモニクスデバイスの構築
- 蛭田 勇樹 君 (慶應義塾大学理工学部・専任講師)  
研究業績 精密分子設計に基づくバイオイメージングプローブの開発と応用
- 米田 哲弥 君 ((株)島津製作所・主任)  
研究業績 高精度蛍光 X 線分析装置の開発と電池材料解析への応用研究

### 〔2020 年度先端分析技術賞受賞者〕

- JAIMA 機器開発賞
- 桜井 健次 君 ((国研)物質・材料研究機構)  
研究業績 新しい X 線イメージング技術の開拓
- 永井 秀典 君 ((国研)産業技術総合研究所)  
研究業績 マイクロ流体チップによるリアルタイムポリメラーゼ連鎖反応法の高度化

### 〔2020 年度女性 Analyst 賞受賞者〕

- 佐藤 香枝 君 (日本女子大学・教授)  
研究業績 マイクロ・ナノデバイスのバイオ分析化学への応用
- 高原 晃里 君 ((株)リガク)  
研究業績 固体表面の直接迅速分析法の開発と材料分析への応用

### 〔2020 年度先端分析技術賞受賞者〕

- JAIMA 機器開発賞
- 桜井 健次 君 ((国研)物質・材料研究機構)  
研究業績 新しい X 線イメージング技術の開拓
- 永井 秀典 君 ((国研)産業技術総合研究所)  
研究業績 マイクロ流体チップによるリアルタイムポリメラーゼ連鎖反応法の高度化

### 〔2019 年「分析化学」論文賞受賞者〕

- 山下 修司 君 (東京大学大学院理学系研究科)
- 鈴木 敏弘 君 (東京大学大学院理学系研究科)
- 平田 岳史 君 (東京大学大学院理学系研究科・教授)  
受賞論文 「レーザーアブレーション ICP-MS によりナノ粒子のイメージング分析法の開発」
- 八木 祐介 君 ((株)豊田中央研究所)
- 天野 久美 君 ((株)豊田中央研究所)
- 光岡 拓哉 君 ((株)豊田中央研究所)
- 加藤 雄一 君 ((株)豊田中央研究所)  
受賞論文 「ABS 樹脂上に無電解めっきした Ni 薄膜の密着強度影響因子の定量評価」

〔2020年度有功賞受賞者〕（敬称略）

高橋 功	住鋁テクノリサーチ(株)
大西 弘哲	住鋁テクノリサーチ(株)
大栗 毅	日本分析工業(株)
平賀 光彦	トヨタ自動車(株)
小林由紀子	(株)トクヤマ
黒崎 敏彦	(株)コベルコ科研
中谷 委世	(株)三井化学分析センター
松本 幸子	日産化学(株)
松田 弘喜	北見工業大学
山本 浩司	(株)日立ハイテクサイエンス
夏井 克巳	(株)日立ハイテクサイエンス
松尾 昭裕	(株)日立ハイテクフィールドディング
山崎 利恵	(株)日立ハイテクフィールドディング
大岩 朱美	(株)三井化学分析センター
国重 政昭	(株)三井化学分析センター
下澤 稔	デンカ(株)
日浦 博美	三井串木野鋁山(株)
中川 博	MHIソリューションテクノロジーズ(株)
山田 俊裕	デンカ(株)
東屋 忠男	MHIソリューションテクノロジーズ(株)
池田 雅彦	(株)三井化学分析センター
西郷 義男	昭和電工(株)
高垣 千洋	昭和電工セラミックス(株)
池田 久雄	昭和電工(株)
大藤 直樹	昭和電工(株)
北村 良明	昭和電工パッケージング(株)
磯本 淳基	旭化成(株)
佐藤 雅一	旭化成(株)
平川 尚子	富士フイルム和光純薬(株)
四方 邦宏	住友電気工業(株)
齊藤 恵	(株)東レリサーチセンター
塩賀 睦雄	JFE スチール(株)
黒田 誠也	三菱マテリアル(株)
原田 辰夫	住友化学(株)
宮台 博	(株)住化分析センター
本川 敦康	(株)住化分析センター
起汐 祐司	(株)住化分析センター
湯地 玲子	味の素(株)
中根 英明	独立行政法人 造幣局
阿部 健次	DOWA テクノリサーチ(株)
岩尾 重博	DOWA テクノリサーチ(株)
森 茂夫	(株)大同分析リサーチ
薬真寺孝憲	JFE テクノリサーチ(株)
根本 卓也	JFE テクノリサーチ(株)
吉野 公法	JFE テクノリサーチ(株)
田村 琢夫	JFE テクノリサーチ(株)
安保 寛一	(株)島津製作所
山部 恵子	(株)島津製作所
間嶋 徹	(株)島津製作所
吉見 聡	(株)島津製作所
堂脇 正市	(株)島津製作所
中川 將	出光興産(株)

## 【第69年会講演プログラム】

この講演プログラムは8月24日現在のものです。

1. 口頭発表の講演時間は、一般講演15分（講演12分、討論3分）です。特別シンポジウム講演、テクノレビュー講演、および研究懇談会講演の講演時間は原則として1件30分（講演25分、討論5分）ですが、講演により異なります。
2. 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
3. 講演番号の最初のアルファベットは会場名、次の「1」～「3」は第何日かを示します。  
例：「C1001」は、C会場第1日目（9月16日）の1番目の講演です。
4. 特別シンポジウム講演の末尾には「S」を付けています。
5. すべてのポスター発表の発表時間は60分です。一般講演ポスター発表（テクノレビュー講演を含む）は「P」、若手ポスター発表は「Y」と明記しています。また、3桁目は午前の発表が「0」、午後の発表が「1」です。テクノレビューポスター発表の末尾には「T」を付けています。
6. 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが、所属略称等は一部修正している場合があります。
7. 座長は交渉中を含みます。
8. 事情により講演プログラムを当日変更する場合があります。

### A 会場

#### 第一日（9月16日）

座長 大谷 肇

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1001（9:00～9:30）マイクロプラスチック分析の現状と将来展望（名工大）○大谷 肇

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1002（9:30～10:00）熱分解GC/MSを用いるマイクロプラスチック分析法の開発（フロンティア・ラボ<sup>1</sup>・フロンティア・ラボUSA<sup>2</sup>・EPA, USA<sup>3</sup>）○渡辺 忠一<sup>1</sup>・Bob Freeman<sup>2</sup>・William Robberson<sup>3</sup>

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1003（10:00～10:30）海洋投棄プラスチック調査の矛盾点とゴム・プラスチックの水劣化と生分解性（長岡技科大）○大武 義人

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1004（10:30～11:00）ポリオレフィン系高分子のマイクロプラスチック形成過程の精密構造物性解析（九大先端研）○高原 淳・梶原 朋子

座長 馬場 嘉信

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1005（13:00～13:10）細胞外微粒子の研究を加速する分析化学（名大未来機構）○馬場 嘉信

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1006（13:10～13:40）糖鎖を基軸とするエクソソームの多様性解析（京大院工）○秋吉 一成

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1007（13:40～14:10）エクソソーム膜動態の超解像・1粒子可視化解析（岐阜大G-CHAIN<sup>1</sup>・東海国立大機構iGCORE<sup>2</sup>）○鈴木 健一<sup>1,2</sup>

座長 早川 和一

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1008（14:10～14:40）多次元・ネットワーク化計測の開拓（東大先端研）○太田 禎生・鶴川 昌武・許 斌

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1009（14:40～15:10）革新的液中ナノ顕微鏡開発と細胞外微粒子の包括的解明（産総研）○小椋 俊彦

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1010（15:20～15:40）細胞外小胞の網羅的捕捉と機械学習解析によるmiRNAアンサンブルマーカーの創出（名大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>）○安井 隆雄<sup>1,2</sup>

座長 渡慶次 学

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1011（15:40～16:00）電流/分光同時計測による高速1粒子解析技術の開発（九大先端研）○龍崎 奏

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1012（16:00～16:20）ナノ流体デバイスによるエクソソームの1ステップ配列と1粒子解析（阪府大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>・阪府大NanoSquare研<sup>3</sup>）○許 岩<sup>1,2,3</sup>

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1013（16:20～16:50）細胞外微粒子の生体応答と発がん（名大院医）○豊國 伸哉

##### 【特別シンポジウム講演】

AS1014（16:50～17:00）おわりに（金沢大）○早川 和一

#### 第二日（9月17日）

座長 北川 慎也

##### 【特別シンポジウム講演】

AS2001（9:00～9:30）細胞膜レセプター機能解析のための新たなイメージングと光操作法（東大院理）○小澤 岳昌

##### 【特別シンポジウム講演】

AS2002（9:30～10:00）電気化学イメージングによる組織モデルの機能評価（東北大院工）○珠玖 仁

##### 【特別シンポジウム講演】

AS2003（10:00～10:30）質量分析イメージングに適用できる新規なマトリックスフリーレーザー脱離イオン化法DIUTHAME（光産業創成大）○内藤 康秀

##### 【特別シンポジウム講演】

AS2004（10:30～11:00）二次イオン質量分析法による高分子イメージングの課題と展望（横浜国大院環境情報<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>）○藤井 麻樹子<sup>1,2</sup>

##### 【特別シンポジウム講演】

AS2005（11:00～11:30）AI・ディープラーニング技術による「イメージング」の分析技術（大日本印刷）○佐波 晶

座長 尾崎 幸洋

##### 【学会賞受賞講演】

A2006（14:45～15:25）多角入射分解分光法の開発と実用化（京大化研）○長谷川 健

座長 竹中 繁織

##### 【学会賞受賞講演】

A2007（15:30～16:10）ナノ空間包接場およびナノ構造体を用いる超分子分析試薬の開発（上智大理工）○早下 隆士

座長 高貝 慶隆

**【学会賞受賞講演】**

A2008 (16:15 ~ 16:55) プラズマ質量分析に基づく地球メタロミクス学の創成 (東大院理) ○平田 岳史

**第三日 (9月18日)**

座長 石田 康行

**【特別シンポジウム講演】**

AS3001 (9:00 ~ 9:30) グループワークの要素を活かした分析化学の授業づくり (中部大応生) ○石田 康行

**【特別シンポジウム講演】**

AS3002 (9:30 ~ 10:00) e-learning system を活用した効果について (中部大応生) ○堤内 要

**【特別シンポジウム講演】**

AS3003 (10:00 ~ 10:30) 課題解決型学習 (PBL: Project-Based Learning) の化学分野への展開 (金沢工大) ○露本 伊佐男

座長 リム リーフ

**【特別シンポジウム講演】**

AS3004 (10:30 ~ 11:00) 分析化学を学ぶ内発的な動機付けを如何に行うか (愛知工大) ○手嶋 紀雄

座長 石田 康行

**【特別シンポジウム講演】**

AS3005 (11:00 ~ 11:30) 国際協働教育プログラム (double-degree, joint-degree 等) とは (岐阜大工) ○リム リーフ

座長 手嶋 紀雄

**【特別シンポジウム講演】**

AS3006 (11:30 ~ 12:00) 大学で学ぶ「分析化学」の先にあるもの (千葉大理) ○沼子 千弥

座長 北隅 優希

**【特別シンポジウム講演】**

AS3007 (14:35 ~ 15:00) キャピラリー電気泳動を駆使した微量オミックス分析法の開発と応用 (理研BDR<sup>1</sup>・阪大院生命機能<sup>2</sup>) ○川井 隆之<sup>1,2</sup>

座長 岡村 浩之

**【特別シンポジウム講演】**

AS3008 (15:00 ~ 15:25) シグナル増幅が可能な機能性化学センサー～戦略、設計、構築、広範囲な系の制御に向けて～ (東工大理<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○福原 学<sup>1,2</sup>

座長 唐島田 龍之介

**【特別シンポジウム講演】**

AS3009 (15:25 ~ 15:50) 水相-逆ミセル間の物質輸送の定量的評価とマイクロ濃縮・精製操作への応用 (東北大多元研) ○福山 真央・火原 彰秀

座長 植松 宏平

**【特別シンポジウム講演】**

AS3010 (16:00 ~ 16:25) 金属表面の化学とSPRセンサー (鹿児島大院理工) ○満塩 勝

**【特別シンポジウム講演】**

AS3011 (16:25 ~ 16:50) 海洋における極微量金属元素研究～白金について～ (金沢大理工) ○眞塩 麻彩実

**B 会場**

**第一日 (9月16日)**

座長 沖野 晃俊

**【技術功績賞受賞講演】**

B1001 (9:45 ~ 10:15) 高性能大気圧マイクロ波誘導プラズマ生成技術と極微量元素分析装置の開発 (東洋大) ○岡本 幸雄

座長 板橋 豊

**【技術功績賞受賞講演】**

B1002 (10:15 ~ 10:45) 下痢性貝毒の機器分析法開発と普及 (水産機構) ○鈴木 敏之

座長 辻 幸一

**【奨励賞受賞講演】**

B1003 (13:15 ~ 13:45) 高精度蛍光X線分析装置の開発と電池材料解析への応用研究 (島津) ○米田 哲弥

座長 江場 宏美

**【JAIMA賞受賞講演】**

B1004 (13:45 ~ 14:15) 新しいX線イメージング技術の開拓 (物材機構) ○桜井 健次

座長 辻 幸一

**【女性analyst賞受賞講演】**

B1005 (14:30 ~ 15:00) 固体表面の直接迅速分析法の開発と材料分析への応用 (リガク) ○高原 晃里

座長 森 勝伸

**【奨励賞受賞講演】**

B1006 (15:00 ~ 15:30) 複合分離機構型イオンクロマトグラフィを用いた多成分同時分離定量法の開発と応用 (高知大理工) ○小崎 大輔

座長 小澤 岳昌

**【奨励賞受賞講演】**

B1007 (15:45 ~ 16:15) 精密分子設計に基づくバイオイメージングプローブの開発と応用 (慶大理工) ○蛭田 勇樹

**第二日 (9月17日)**

座長 手嶋 紀雄

**【特別シンポジウム講演】**

BS2001 (9:00 ~ 9:30) 発生気体分析/質量分析法の高度化 (産総研) ○津越 敬寿

座長 金子 聡

**【特別シンポジウム講演】**

BS2002 (9:30 ~ 10:00) イオン液体抽出系研究と高山フォーラム (東邦大理) ○平山 直紀

座長 江坂 幸宏

**【特別シンポジウム講演】**

BS2003 (10:00 ~ 10:30) 長さ5 $\mu\text{m}$ のナノワイヤを分離場とする超薄層クロマトグラフィの開発 (東薬大生命) ○梅村 知也

座長 巽 広輔

**【特別シンポジウム講演】**

BS2004 (10:30 ~ 11:00) 電解および熱分解合成カーボンナノドットの発光特性 (東邦大理) ○森田 耕太郎

座長 石田 康行

**【特別シンポジウム講演】**

BS2005 (11:00 ~ 11:30) 分析装置開発におけるベンチャービジネスの力 (阪電通大工<sup>1</sup>・ミヤチ<sup>2</sup>・MSHシステムズ<sup>3</sup>・名大名誉教授<sup>4</sup>) ○森田 成昭<sup>1</sup>・宮地 清和<sup>2</sup>・森田 一二夫<sup>3</sup>・北川 邦行<sup>4</sup>

**第三日 (9月18日)**

座長 上野 祐子

**【奨励賞受賞講演】**

B3001 (9:30 ~ 10:00) 金属周期構造を用いたテラヘルツ帯センサの開発と食の安全に資する光分析分野への展開 (京大農) ○鈴木 哲仁

座長 山口 央

**【奨励賞受賞講演】**

B3002 (10:00 ~ 10:30) 高感度気体センシング技術のための中赤外プラズモニクスデバイスの構築 (横国大工) ○西島 喜明

座長 前田 瑞夫

**【女性analyst賞受賞講演】**

B3003 (10:45 ~ 11:15) マイクロ・ナノデバイスのバイオ分析化学への応用 (日女大理) ○佐藤 香枝

座長 久本 秀明

**【JAIMA賞受賞講演】**

B3004 (14:45 ~ 15:15) マイクロ流体チップによるリアルタイムポリマーゼ連鎖反応法の高度化 (産総研関西セ) ○永井 秀典

座長 森田 成昭

**【技術功績賞受賞講演】**

B3005 (15:15 ~ 15:45) 共鳴ラマン分光法による単層カーボンナノチューブ解析法の開発 (堀場テクノサービス) ○中田 靖

**C 会場**

**第一日 (9月16日)**

座長 蒲生 啓司

C1001 (9:15 ~ 9:30) エレクトロスプレーイオン化イオンモビリティ衝突誘起電荷分離タンデム型質量分析法によるポリブチレンテレフタレートの高感度精密解析 (名工大院工<sup>1</sup>・ポリプラスチック<sup>2</sup>) ○森本 雄貴<sup>1</sup>・北川 慎也<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・川口 邦明<sup>2</sup>・阿久津 裕明<sup>2</sup>

C1002 (9:30 ~ 9:45) 鋳型マトリクスを用いたアミノ酸光学異性体の質量分析法 (東洋大理工) ○許 家瑋・藤野 竜也

C1003 (9:45 ~ 10:00) TOF-SIMS及び主成分分析 (PCA) を用いたコンドロイチン硫酸含有製剤の皮膚浸透イメージング (名工大院工<sup>1</sup>・小林製薬<sup>2</sup>) ○田中 七奈<sup>1</sup>・宮川 鈴衣奈<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・宅見 信哉<sup>2</sup>・宇野 明<sup>2</sup>・北川 慎也<sup>1</sup>

座長 東海林 敦

C1004 (10:00 ~ 10:15) 脳内物質の定量分析に基づく自閉症発症メカニズムの解明 (高知大複合領域科学<sup>1</sup>・高知大教育<sup>2</sup>・東洋電化テクノロジーサーチ<sup>3</sup>・土佐リハビリ学療法<sup>4</sup>・高知大基礎医学<sup>5</sup>) ○蒲生 啓司<sup>1</sup>・正岡 恭一郎<sup>2</sup>・前田 武晴<sup>3</sup>・公文 俊佑<sup>3</sup>・美濃 厚志<sup>3</sup>・奥田 教宏<sup>4</sup>・大迫 洋治<sup>5</sup>

C1005 (10:15 ~ 10:30) 発達障害モデルとしてのMotopsin欠損マウスを用いた社会行動の制御と血中アミノ酸濃度との関係について (東洋電化テクノロジーサーチ<sup>1</sup>・群馬大院保健<sup>2</sup>・高知大複合領域科学<sup>3</sup>) ○前田 武晴<sup>1</sup>・公文 俊佑<sup>1</sup>・美濃 厚志<sup>1</sup>・三井 真一<sup>2</sup>・蒲生 啓司<sup>3</sup>

C1006 (10:30 ~ 10:45) QR code array-based dipstick bioassay (慶大院理工) ○前島 健人・加登 絢・蛭田 勇樹・Citterio, Daniel

**【ランチタイムオンラインセミナー】**

リアクト (12:10 ~ 12:50) NMRスペクトル解析ソフトウェア【Mnova】

座長 森田 成昭

C1007 (13:15 ~ 13:30) 機械学習による医薬品品質管理：懸濁剤の粘度に及ぼす因子の同定と管理方法の探索 (アステラス製薬) ○片井 寛明・阿形 泰義・宮本 浩平・高橋 夏樹・元永 圭

C1008 (13:30 ~ 13:45) Cosine similarity mapping multivariate curve resolution 法による混合物スペクトル解析 (中大理工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○永井 優也<sup>1</sup>・片山 建二<sup>1,2</sup>

C1009 (13:45 ~ 14:00) バイズ最適化による効率的計測を利用した時間分解計測 (中大理工) ○片山 建二

座長 片山 建二

C1010 (14:15 ~ 14:30) アルキル置換色素分子の冷結晶化の熱分析と集合構造の解析 (東理大理<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) ○本田 暁紀<sup>1</sup>・河合 将斗<sup>1</sup>・井藤 浩志<sup>2</sup>・宮村 一夫<sup>1</sup>

C1011 (14:30 ~ 14:45) S<sup>2-</sup>/SO<sub>3</sub><sup>2-</sup>溶液からの改良CuS/ZnOS触媒を用いた水素生成の向上 (三重大院工<sup>1</sup>・国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○林 凌矢<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

C1012 (14:45 ~ 15:00) 酸処理したベンゼン環修飾グラファイト状窒化炭素による可視光水素生成 (三重大院工<sup>1</sup>・国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○小林 祐也<sup>1</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

C1013 (15:00 ~ 15:15) 溶塩中で合成したg-C<sub>3</sub>N<sub>4</sub>の光触媒活性の促進 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○榊原 光哉<sup>1</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

座長 加賀谷 重浩

C1014 (15:30 ~ 15:45) イオン液体/水の相分離を利用する金属イオンの分離と接触分析法の開発 (静岡大教育) ○栗原 誠・菊澤 彩花・石橋 佳奈・今井 愛華

C1015 (15:45 ~ 16:00) セルロース系固相抽出剤を用いた三価及び五価ヒ素の連続分離 (金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>) ○湯之下 航季<sup>1</sup>・中窪 圭佑<sup>1</sup>・Foni Bushion Biswas<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・谷口 剛史<sup>2</sup>・西村 達也<sup>2</sup>・前田 勝浩<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

C1016 (16:00 ~ 16:15) 気泡浮上分離システムの設計と色素分離への応用 (北見工大工<sup>1</sup>・北見工大院工<sup>2</sup>) ○齋藤 徹<sup>1</sup>・児玉 康輝<sup>2</sup>・大岩 真子<sup>2</sup>

座長 榊 飛雄真

**【有機微量分析研究懇談会】**

C1017 (16:30 ~ 17:00) 質量分析は定性・定量分析ばかりではない —ホスト・ゲストケミストリーの分野への応用— (日本大薬) ○目鳥 幸一

## 第二日 (9月17日)

座長 伊藤 宏

CT2001 (9:15~9:45) 皮膚ガスのウェアラブル化 (ウェアラブル発汗計) (試作: ウェアラブルアセトン・エタノール計) 及び皮膚表面の観察 (発汗カメラによる動態観察) (ピコデバイス) ○津田 孝雄

C2002 (9:45~10:00) GC分析におけるユニバーサルなプレカット/バックフラッシュ装置の開発

その1: プレカット濃縮法の基本性能の検討 (フロンティア・ラボ<sup>1</sup>・東北大<sup>2</sup>・名工大<sup>3</sup>) ○渡辺 壱<sup>1,2</sup>・鄭 甲志<sup>1</sup>・松枝 真依<sup>1</sup>・渡辺 忠一<sup>1</sup>・寺前 紀夫<sup>1,2</sup>・大谷 肇<sup>3</sup>

C2003 (10:00~10:15) GC分析におけるユニバーサルなプレカット/バックフラッシュ装置の開発

その2: バックフラッシュの基本性能の検討 (フロンティア・ラボ<sup>1</sup>・東北大<sup>2</sup>・名工大<sup>3</sup>) ○渡辺 壱<sup>1,2</sup>・岩井 逸子<sup>1</sup>・渡辺 忠一<sup>1</sup>・寺前 紀夫<sup>1,2</sup>・大谷 肇<sup>3</sup>

C2004 (10:15~10:30) 1µlのヒト血清中に含まれるEPAおよびDHAの反応熱分解GCによる精密分析 (中部大応生<sup>1</sup>・ワールドインテック<sup>2</sup>・金城学院大薬<sup>3</sup>・フロンティア・ラボ<sup>4</sup>・東北大<sup>5</sup>) ○石田 康行<sup>1</sup>・古田 汐里<sup>2</sup>・宮澤 大介<sup>3</sup>・渡辺 壱<sup>4,5</sup>

座長 佐藤 博

### 【ガスクロマトグラフィー研究懇談会】

C2005 (10:45~11:30) 皮膚ガスのこれまで (発見、健康への応用、疾病への応用、皮膚ガス捕集方法、測定方法) これからの展開: 健康、疾病 (パーキンソン病、糖尿病、アルツハイマー、肺炎)、ウェアラブル化 (ピコデバイス) ○津田 孝雄

### 【ランチタイムオンラインセミナー】

JAIMA ジョイントセミナー2020 (12:40~13:20) 機器分析の最新技術ご紹介

## 第三日 (9月18日)

座長 森 勝伸

C3001 (9:15~9:30) 直列に結合した電子ドナー・アクセプターの電荷移動錯体を主鎖にもつメカノストレス・センシング高分子材料の機能 (早大院先進理工<sup>1</sup>・広大院工<sup>2</sup>) ○土戸 優志<sup>1</sup>・山中 凌大<sup>1</sup>・伊藤 成輝<sup>1</sup>・中島 英和<sup>1</sup>・飯谷 健太<sup>1</sup>・今任 景一<sup>1,2</sup>・武田 直也<sup>1</sup>

C3002 (9:30~9:45) 糖鎖高分子-多孔性金属錯体複合体の色素吸着機構の解析 (北大院環境科学<sup>1</sup>・北大地球環境<sup>2</sup>) ○谷本 憂太郎<sup>1</sup>・野呂 真一郎<sup>1,2</sup>

C3003 (9:45~10:00) ホスホリル化合物とホスフィン化合物: ポリアルコキシシラン水架橋反応触媒 (山口大院創成科学) ○田中 祥平・安達 健太

座長 香川 信之

### 【論文賞講演】

C3004 (10:00~10:30) ABS樹脂上に無電解めっきしたNi薄膜の密着強度影響因子の定量評価 (豊田中研) ○八木 祐介・天野 久美・光岡 拓哉・加藤 雄一

### 【高分子分析研究懇談会】

C3005 (10:45~11:15) 高分子電解質の分析から高分子電解質を用いた電気化学デバイス (豊橋技科大) ○服部 敏明

座長 渡辺 壱

C3006 (14:45~15:00) グラフェン構造を有するリグニン由来のカーボン生成の機構解明 (I) (高知大院理工<sup>1</sup>・群馬大院理工<sup>2</sup>) ○生田 雄己<sup>1</sup>・森 みかる<sup>1</sup>・田村 隆典<sup>1</sup>・久安 駿弘磨<sup>1</sup>・小崎 大輔<sup>1</sup>・石井 孝文<sup>2</sup>・尾崎 純一<sup>2</sup>・森 勝伸<sup>1</sup>

C3007 (15:00~15:15) 熱分解ガスクロマトグラフィーによる二成分系ゴムの加硫反応解析 (名工大院工<sup>1</sup>・住友ゴム工業<sup>2</sup>) ○尾形 凌平<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・海野 祐馬<sup>2</sup>・山橋 友紀<sup>2</sup>・山田 宏明<sup>2</sup>

C3008 (15:15~15:30) 反応熱分解GC-MSによる強固な架橋構造を有する紫外線硬化アクリレート共重合体の組成及び構造解析 (名工大院工<sup>1</sup>・ソニー<sup>2</sup>) ○加藤 章太郎<sup>1</sup>・青井 裕美<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・境川 佐知子<sup>2</sup>・梅里 俊之<sup>2</sup>・大喜多 拓己<sup>2</sup>・西田 康代<sup>2</sup>・工藤 喜弘<sup>2</sup>

座長 小崎 大輔

C3009 (15:45~16:00) GC/MSによる抱合体を含む代謝物分析のための試料前処理法の開発 (和歌山県工技セ<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>・アイステイサイエンス<sup>3</sup>) ○大崎 秀介<sup>1</sup>・増田 剛<sup>1</sup>・大竹 貴光<sup>2</sup>・佐々野 僚一<sup>3</sup>

C3010 (16:00~16:15) 養殖されたパンガシウスの中のカドミウムの検出 (北大<sup>1</sup>・室蘭工大<sup>2</sup>) ○RYU YOU<sup>1</sup>・MOKHGTAR Guizani<sup>1</sup>・伊藤 竜生<sup>1</sup>・船水 尚行<sup>2</sup>・川口 俊一<sup>1</sup>

C3011 (16:15~16:30) ワイン中のSO<sub>2</sub>の電気化学的検出 (北大<sup>1</sup>・日立化成<sup>2</sup>) ○Parvin Begum<sup>1</sup>・諸角 達也<sup>1</sup>・上面 雅義<sup>2</sup>・曾根 輝雄<sup>1</sup>・川口 俊一<sup>1</sup>

## D 会場

### 第一日 (9月16日)

座長 嶋田 泰佑

D1001 (9:15~9:30) 核酸アプタマー高効率選抜のためのミクロスケール電気泳動フィルタリングデバイス (阪府大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>・阪府大工<sup>3</sup>) ○末吉 健志<sup>1,2</sup>・永井 伶奈<sup>3</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>

D1002 (9:30~9:45) 高精度な細胞外微粒子分級用マイクロ・ナノ流体デバイスの開発 (阪府大院工<sup>1</sup>・阪府大工<sup>2</sup>・東大院工<sup>3</sup>・JST さきがけ<sup>4</sup>) ○藤原 聡子<sup>1</sup>・金子 紗也<sup>2</sup>・森川 響二郎<sup>3</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>・末吉 健志<sup>1,4</sup>

D1003 (9:45~10:00) 生体粒子・分子の活性を個別かつ多条件下で評価可能な多次元デジタルバイオアッセイの開発 (東大院工) ○本田 信吾・田端 和仁・皆川 慶嘉・野地 博行

D1004 (10:00~10:15) 薄層空間を反応場とするELISAデバイスの開発: 目的分子の高効率捕捉による高感度化の検討 (東大院工) ○太田 諒一・関谷 圭亮・Smirnova Aderina・森 絵美・北森 武彦

座長 渡慶次 学

### 【ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会】

D1005 (10:30~11:00) マイクロナノ流体デバイスの極限を指して (東大院工) ○馬渡 和真

座長 原田 明

D1006 (13:30~13:45) 高繰返しフェムト秒Ybレーザーをイオン化光源とする小型飛行時間型質量分析計の開発 (九大院芸術工学<sup>1</sup>・九大名誉教授<sup>2</sup>) ○吉永 勝法<sup>1</sup>・今坂 藤太郎<sup>2</sup>・今坂 智子<sup>1</sup>

D1007 (13:45 ~ 14:00) Laser ionization time-of-flight mass spectrometry of drug-related compounds (九大) ○Siddihal, Lakshitha Madunil・今坂 藤太郎・今坂 智子

D1008 (14:00 ~ 14:15) Derivatization of perfluorocarboxylic acids with 2-bromomethylnaphthalene for gas chromatography combined with flame ionization detection/laser ionization mass spectrometry. (九大院芸術工学<sup>1</sup>・九大名誉教授<sup>2</sup>) ○Lu Wen<sup>1</sup>・Fengdan Jin<sup>1</sup>・Totaro Imasaka<sup>2</sup>・Tomoko Imasaka<sup>1</sup>

座長 今坂 智子

D1009 (14:30 ~ 14:45) 多光子イオン化飛行時間型質量分析法を用いたリポソーム試料の測定 (福井大院工) ○山下 慧士・上山 智大・宮川 智未・内村 智博

D1010 (14:45 ~ 15:00) 2色2光子熱レンズ検出と2光子吸収スペクトル (九大院総理工) ○原田 明・上戸 あいら・小平田 新十郎・磯田 美紀

D1011 (15:00 ~ 15:15) レーザー誘起ブレイクダウン分光法 (LIBS) を用いた月面水資源探査の検討 (JAXA<sup>1</sup>・東大院理<sup>2</sup>) ○相田 真里<sup>1</sup>・与賀田 佳澄<sup>1</sup>・宮原 秀一<sup>2</sup>・平田 岳史<sup>2</sup>

座長 高椋 利幸

D1012 (15:30 ~ 15:45) 疎水性/親水性をスイッチできる新規イオン液体を用いた金属イオンの溶媒抽出 (山口大院創成) ○大久保 晃太・柳澤 圭哉・上村 明男・藤井 健太

D1013 (15:45 ~ 16:00) 反応熱によるポリアクリル酸被覆ナノ粒子のプレ凝集体生成検知 (鹿児島大院理工) ○神崎 亮・酒匂 美夏・児玉谷 仁・富安 卓滋

座長 藤井 健太

D1014 (16:15 ~ 16:30) ホウ酸と低分子アルコールおよびヒドロキシル酸との錯生成反応と錯体構造 (佐賀大総合分析セ<sup>1</sup>・福岡教育大<sup>2</sup>・佐賀大理工<sup>3</sup>) ○真瀬田 幹生<sup>1</sup>・宮崎 義信<sup>2</sup>・高椋 利幸<sup>3</sup>

D1015 (16:30 ~ 16:45) 過冷却状態において水と類似した比熱異常を示す液体の構造解析 (福岡大理) ○西本 涼香・吉田 亨次・栗崎 敏・山口 敏男

D1016 (16:45 ~ 17:00) ラマン散乱およびX線回折法による空気中の単一電解質水溶液液滴の構造と性質 (福岡大理<sup>1</sup>・広島大院理<sup>2</sup>・JASRI<sup>3</sup>) ○山口 敏男<sup>1</sup>・中里 駿太郎<sup>1</sup>・秦 菜月<sup>1</sup>・松尾 俊一郎<sup>1</sup>・吉田 亨次<sup>1</sup>・栗崎 敏<sup>1</sup>・石坂 昌司<sup>2</sup>・尾原 幸治<sup>3</sup>

## 第二日 (9月17日)

座長 梅林 泰宏

D2001 (9:15 ~ 9:30) フッ素化リン酸エステル溶媒を用いた不燃性ゲル電解質のゲル化反応メカニズムと電気化学特性 (山口大院創成科学<sup>1</sup>・東ソー・ファインケム<sup>2</sup>) ○高野 沙織<sup>1</sup>・松浦 沙樹<sup>1</sup>・韓 智海<sup>1</sup>・三村 英之<sup>2</sup>・藤井 健太<sup>1</sup>

D2002 (9:30 ~ 9:45) ホスホニウム型イオン液体へのPEG鎖の塩溶効果を利用したLi電池用高分子ゲル電解質の開発 (山口大院創成科学) ○松浦 沙樹・柴田 雅之・韓 智海・藤井 健太

D2003 (9:45 ~ 10:00) BF<sub>4</sub>系イオン液体を溶媒とする超濃厚電解液の溶液構造と輸送特性 (山口大院創成科学) ○村田 輝・上山 祐史・藤井 健太

座長 神崎 亮

D2004 (10:15 ~ 10:30) Liイオン電池用不燃性超濃厚電解液のバルク構造と電極/電解液界面構造への影響 (山口大院創成科学<sup>1</sup>・東ソー・ファインケム<sup>2</sup>) ○澤山 沙希<sup>1</sup>・森永 明日香<sup>1</sup>・片山 祐<sup>1</sup>・三村 英之<sup>2</sup>・藤井 健太<sup>1</sup>

D2005 (10:30 ~ 10:45) 正極不溶型リチウム-硫黄電池スルホン系及びグライム系電解液のオペランド顕微Raman分光測定 (新潟大院自然<sup>1</sup>・東京理科大学工<sup>2</sup>・工学院大先進工<sup>3</sup>・産総研<sup>4</sup>・横浜国大院工<sup>5</sup>) ○梅林 泰宏<sup>1</sup>・荒井 奈々<sup>1</sup>・弓削 眞子<sup>1</sup>・川名 結衣<sup>1</sup>・渡辺 日香里<sup>2</sup>・都築 誠二<sup>4</sup>・関 志朗<sup>3</sup>・上野 和英<sup>5</sup>・獨古 薫<sup>5</sup>・渡邊 正義<sup>5</sup>

D2006 (10:45 ~ 11:00) オペランドインピーダンス法による正極不溶型リチウム-硫黄電池の放電反応に関する研究 (東理大理工<sup>1</sup>・新潟大院自然<sup>2</sup>・新潟大理<sup>3</sup>・横浜国大院工<sup>4</sup>) ○渡辺 日香里<sup>1</sup>・上野 和英<sup>4</sup>・弓削 眞子<sup>2</sup>・川名 結衣<sup>3</sup>・板垣 昌幸<sup>1</sup>・獨古 薫<sup>4</sup>・渡邊 正義<sup>4</sup>・梅林 泰宏<sup>2</sup>

座長 森澤 勇介

## 【溶液反応化学研究懇談会】

D2007 (11:00 ~ 11:30) 近赤外分光法による水分析で生体機能や代謝活性を視る—胚発生が水構造に与える影響評価— (鳥根大生物資源) ○石垣 美歌

## 第三日 (9月18日)

座長 松山 嗣史

D3001 (9:00 ~ 9:15) 全反射中性子線を用いた固液界面の元素分析 (NCROSS<sup>1</sup>・NIIMS<sup>2</sup>・JAEA・J-PARCセンター<sup>3</sup>) ○水沢 まり<sup>1,2</sup>・桜井 健次<sup>2</sup>・山崎 大<sup>3</sup>・及川 健一<sup>3</sup>・原田 正英<sup>3</sup>・伊藤 崇芳<sup>1</sup>

D3002 (9:15 ~ 9:30) 膜厚40 nmの自立型グラファイト超薄膜を用いて測定したsp<sup>2</sup>炭素の質量吸収係数2; 再測定と補正 (兵県大院工<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>・LBNL<sup>3</sup>) ○村松 康司<sup>1</sup>・曾根田 靖<sup>2</sup>・Eric Gullikson<sup>3</sup>

D3003 (9:30 ~ 9:45) 黎明期の有田焼の胎土組成シンクロトロン蛍光X線分析 (佐賀大理工<sup>1</sup>・有田町教委文化財<sup>2</sup>) ○田端正明<sup>1</sup>・村上 伸之<sup>2</sup>

座長 村松 康司

D3004 (10:00 ~ 10:15) 単色X線を用いたリチウムイオン二次電池正極材の充放電in-situXRD解析 (住友金属鉱山) ○小野 勝史・鈴木 奈織美・松本 哲

D3005 (10:15 ~ 10:30) 塩水中亜鉛メッキ鋼板の蛍光X線高速イメージングと腐食生成物の解析 (阪市大院工) ○松山 嗣史・仲西 桃太郎・園田 将太・辻 幸一

D3006 (10:30 ~ 10:45) 水溶液試料の全反射蛍光X線分析のための試料保持基板の検討 (阪市大院工) ○辻 幸一・松山 嗣史

座長 井田 隆

## 【X線分析研究懇談会】

D3007 (10:45 ~ 11:15) CT XAFS による価数の三次元可視化へのアプローチ: 修正線形結合フィッティング (名大SR研究セ) ○田淵 雅夫

座長 小林 憲正

D3008 (14:45 ~ 15:00) 河川水に含まれるガドリニウムの化学形態別分析 (関学大理工<sup>1</sup>・理研SPring-8セ<sup>2</sup>・産総研計量標準<sup>3</sup>) ○岡村 識起<sup>1</sup>・河根 怜央奈<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・成川 知弘<sup>3</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>

D3009 (15:00 ~ 15:15) 同位体希釈 - ICP質量分析法を用いた高感度・高精度な海水中のパラジウム分析法の確立 (金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>・東大海洋研<sup>3</sup>) ○市村 亮人<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・小畑 元<sup>3</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

D3010 (15:15～15:30) 大槌湾における海水-堆積物間の白金分布と挙動(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>・東大海洋研<sup>3</sup>) ○谷村 泰城<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・小畑 元<sup>3</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

D3011 (15:30～15:45) 逐次抽出された堆肥の海水可溶有機物分画の蛍光特性及び分子量特性の変化(金沢大環日セ) ○岩井 久典

座長 岩井 久典

D3012 (16:00～16:15) 太陽エネルギー粒子による原始地球大気中でのアミノ酸およびそのエナンチオ過剰生成: 模擬実験からのアプローチ(横浜国大<sup>1</sup>・中部大<sup>2</sup>・東工大<sup>3</sup>・阪大<sup>4</sup>・NASA-GSFC<sup>5</sup>) ○小林 憲正<sup>1</sup>・木下 美栄<sup>1</sup>・毛利 駿介<sup>1</sup>・坂元 俊紀<sup>1</sup>・Bhagawati Kunwar<sup>2</sup>・河村 公隆<sup>2</sup>・福田 一志<sup>3</sup>・小栗 慶之<sup>3</sup>・柴田 裕実<sup>4</sup>・高橋 淳一<sup>1</sup>・Vladimir Airapetian<sup>5</sup>・癸生川 陽子<sup>1</sup>

D3013 (16:15～16:30) 分別効果に起因する大気観測用CO<sub>2</sub>標準ガスの再現性評価(産総研計量標準<sup>1</sup>・産総研環境創生<sup>2</sup>) ○青木 伸行<sup>1</sup>・村山 昌平<sup>2</sup>・石戸谷 重之<sup>2</sup>

D3014 (16:30～16:45) 大気濃度レベル測定用磁気式酸素計の信号強度安定化(産総研計測標準) ○下坂 琢哉

## E 会場

### 第一日(9月16日)

座長 竹中 繁織

E1001 (9:00～9:15) 核酸の連鎖的鎖交換反応を利用したシグナル増幅型腫瘍細胞検出法の開発(熊本大院先端<sup>1</sup>・オジックテクノロジーズ<sup>2</sup>・熊本大院生命<sup>3</sup>) ○北村 裕介<sup>1</sup>・工藤 悠暉<sup>1</sup>・勝田 陽介<sup>1</sup>・中島 雄太<sup>1</sup>・安田 敬一郎<sup>2</sup>・熊本 清太郎<sup>2</sup>・岩槻 政晃<sup>3</sup>・馬場 秀夫<sup>3</sup>・中西 義孝<sup>1</sup>・井原 敏博<sup>1</sup>

E1002 (9:15～9:30) グアニン四重鎖DNA アプタザイムに基づく電気化学活性スイッチング分子(産総研環境創生) ○青木 寛・中里 哲也

E1003 (9:30～9:45) 核酸センサアレイ量産化に向けた長期保存金薄膜基板の再活性化検討(産総研環境創生<sup>1</sup>・産総研物理計測標準<sup>2</sup>) ○青木 寛<sup>1</sup>・助川 剛<sup>2</sup>・鳥村 政基<sup>1</sup>・中里 哲也<sup>1</sup>

E1004 (9:45～10:00) マイクロRNAエピトーム単分子検出法の開発(阪大産研<sup>1</sup>・阪大医<sup>2</sup>) ○大城 敬人<sup>1</sup>・今野 雅允<sup>2</sup>・浅井 歩<sup>1</sup>・小本 祐貴<sup>1</sup>・石井 秀始<sup>2</sup>・谷口 正輝<sup>1</sup>

座長 大城 敬人

E1005 (10:15～10:30) ペルオキシダーゼ活性を持つペプチド核酸モノリスハイブリッド PNAzyme の合成と遺伝子センシング応用(九大院工) ○中野 幸二・田邊 潤壱・石松 亮一

E1006 (10:30～10:45) フェロセニルアラニン修飾ナフトレンジイミドによる電気化学的テロメラーゼアッセイ法の開発(九工大院工) ○佐藤 しのぶ・江口 奈央・若原 大暉・竹中 繁織

E1007 (10:45～11:00) pH応答型マラカイトグリーン誘導体の蛍光とがん細胞毒性(奈良高専<sup>1</sup>・愛媛大学術支援セ<sup>2</sup>) ○宇田 亮子<sup>1</sup>・吉田 奈央<sup>1</sup>・岩崎 智之<sup>2</sup>・林 啓太<sup>1</sup>

座長 長谷川 浩

E1008 (13:15～13:30) 環境中のマイクロプラスチックの熱分解GC/MSによる定量分析法および参照物質の開発(その1) 希釈剤としての石英微粉末の利用(フロンティア・ラボ<sup>1</sup>・東北大<sup>2</sup>・EPA, USA<sup>3</sup>・名工大<sup>4</sup>) ○松枝 真依<sup>1</sup>・渡辺 壱<sup>2</sup>・William Robberson<sup>3</sup>・大谷 肇<sup>4</sup>・寺前 紀夫<sup>12</sup>

E1009 (13:30～13:45) 環境中のマイクロプラスチックの熱分解GC/MSによる定量分析法および参照物質の開発(その2) 希釈剤としての炭酸カルシウムの利用(フロンティア・ラボ<sup>1</sup>・フロンティア・ラボUSA<sup>2</sup>・東北大<sup>3</sup>・EPA, USA<sup>4</sup>・名工大<sup>5</sup>) ○石村 敬久<sup>1</sup>・松枝 真依<sup>1</sup>・岩井 逸子<sup>2</sup>・渡辺 壱<sup>13</sup>・Anna-Marie Cook<sup>4</sup>・大谷 肇<sup>5</sup>・寺前 紀夫<sup>13</sup>

E1010 (13:45～14:00) マイクロプラスチック混合物の熱分解GC/MSを用いた定性および定量分析ソフトウェアの開発(フロンティア・ラボ<sup>1</sup>・東北大<sup>2</sup>・EPA, USA<sup>3</sup>・名工大<sup>4</sup>) ○松井 和子<sup>1</sup>・渡辺 壱<sup>12</sup>・寺前 紀夫<sup>12</sup>・Harry L. Allen<sup>3</sup>・大谷 肇<sup>4</sup>・渡辺 忠一<sup>1</sup>

E1011 (14:00～14:15) プラントン1個体に摂食されたマイクロプラスチックの熱分解GC/MSによる分析(名工大院工<sup>1</sup>・海洋大院海洋科学<sup>2</sup>・中部大応生<sup>3</sup>・紀本電子工業<sup>4</sup>) ○中野 里咲<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・田中 祐志<sup>2</sup>・Ridvan Kaan Gürses<sup>2</sup>・石田 康行<sup>3</sup>・紀本 岳志<sup>4</sup>

座長 布施 泰朗

E1012 (14:30～14:45) 船体付着生物の微量アミノ酸分析法による定量と防汚塗料に与える影響(海技研<sup>1</sup>・理研<sup>2</sup>) ○益田 晶子<sup>1</sup>・堂前 直<sup>2</sup>・安藤 裕友<sup>1</sup>

E1013 (14:45～15:00) フッ素汚染土壌に対するキレート剤を用いた化学洗浄処理(金沢大院自然<sup>1</sup>・茨城高専<sup>2</sup>・金沢大理工<sup>3</sup>) ○谷本 篤彦<sup>1</sup>・澤井 光<sup>2</sup>・原田 康弘<sup>1</sup>・三星 かおり<sup>1</sup>・Rahman, Shafiqur<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>3</sup>・長谷川 浩<sup>3</sup>

E1014 (15:00～15:15) 海洋大型藻類の光合成活性を用いた鉄化学種の生物学的有効性の解析(金沢大院自然<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>・日本製鉄<sup>3</sup>) ○林 周平<sup>1</sup>・Okviyoandra Akhyar<sup>1</sup>・藤澤 彰吾<sup>1</sup>・小杉 知佳<sup>3</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>

座長 益田 晶子

E1015 (15:30～15:45) 均一液液抽出・スマートフォンを融合したオンサイト定量分析システムによる工業材料に対する実用性評価(物質・材料研究機構<sup>1</sup>・富山高専<sup>2</sup>・茨城県産技セ<sup>3</sup>) ○加藤 健<sup>1</sup>・間中 淳<sup>2</sup>・安藤 亮<sup>3</sup>

E1016 (15:45～16:00) ヘッドスペースGC/MSを用いた大気PM<sub>2.5</sub>捕集試料中多環芳香族炭化水素分析法の最適化(京工織大院工芸<sup>1</sup>・島津製作所<sup>2</sup>) ○布施 泰朗<sup>1</sup>・初 雪<sup>12</sup>・工藤 恭彦<sup>2</sup>・田中 幸樹<sup>2</sup>・青野 晃<sup>2</sup>

E1017 (16:00～16:15) 熱脱着GC/MSを用いた大気PM<sub>2.5</sub>捕集ろ紙上の多環芳香族炭化水素分析における熱抽出助剤の効果(京工織大院工芸<sup>1</sup>・島津<sup>2</sup>) ○初 雪<sup>12</sup>・布施 泰朗<sup>1</sup>・工藤 恭彦<sup>2</sup>・田中 幸樹<sup>2</sup>・青野 晃<sup>2</sup>

### 第二日(9月17日)

座長 安井 隆雄

E2001 (9:15～9:30) 細胞ストレッチデバイスの開発と血液細胞分化実験への応用(日女大理<sup>1</sup>・都医学研<sup>2</sup>) ○佐藤 香枝<sup>1</sup>・前田 桃子<sup>1</sup>・北島 健二<sup>2</sup>・原 孝彦<sup>2</sup>

E2002 (9:30～9:45) マイクロ尿管モデルの開発に向けたハイドロゲル中での三次元組織の構築(群馬大院理工) ○泉 万祐子・佐藤 記一

E2003 (9:45～10:00) 共培養スフェロイドを用いたマイクロ肝臓モデルの開発(群馬大院理工) ○惣野 陽介・佐藤 記一

座長 佐藤 香枝

E2004 (10:15 ~ 10:30) ヒト糸球体内皮細胞株およびヒト蜻足細胞株を用いたマイクロ糸球体モデルの開発と糸球体透過試験への応用 (群馬大院理工<sup>1</sup>・群馬大院医<sup>2</sup>) ○高橋 拓巳<sup>1</sup>・小林 靖子<sup>2</sup>・佐藤 記一<sup>1</sup>

E2005 (10:30 ~ 10:45) 三次元毛細血管網構築のためのマイクロデバイスの設計と共培養条件の検討 (群馬大院理工) ○都丸 淳也・佐藤 記一

E2006 (10:45 ~ 11:00) 3次元マイクロ糸球体モデルの開発とその評価 (群馬大院理工<sup>1</sup>・群馬大院医<sup>2</sup>) ○源田 尚太郎<sup>1</sup>・小林 靖子<sup>2</sup>・佐藤 記一<sup>1</sup>

### 第三日 (9月18日)

座長 有馬 彰秀

E3001 (9:30 ~ 9:45) 走査型電気化学顕微鏡を用いたマイクロ流体デバイス内の細胞単層膜の透過性評価 (東北大院環境<sup>1</sup>・東北大院工<sup>2</sup>・東北大学際研<sup>3</sup>) ○藤井 遼太<sup>1</sup>・阿部 充里<sup>1</sup>・梨本 裕司<sup>1,2,3</sup>・伊野 浩介<sup>1,2</sup>・珠玖 仁<sup>1,2</sup>

E3002 (9:45 ~ 10:00) ペプチド修飾電極によるヒト急性単球性白血病由来細胞のセンシング法の開発 (前橋工科大工<sup>1</sup>・富山大院理<sup>2</sup>) ○小平 景人<sup>1</sup>・石崎 空<sup>1</sup>・竹林 健太<sup>1</sup>・倉光 英樹<sup>2</sup>・門屋 利彦<sup>1</sup>・菅原 一晴<sup>1</sup>

E3003 (10:00 ~ 10:15) ノズルシステムを用いたがん細胞からの乳酸塩の電気化学的検出 (都立大院都市環境<sup>1</sup>・都立大教授<sup>2</sup>) ○岡本 梓<sup>1</sup>・Zhou, Lin<sup>1</sup>・Mao, Sifeng<sup>1</sup>・河西 奈保子<sup>2</sup>・内山 一美<sup>1</sup>

E3004 (10:15 ~ 10:30) ガラクトース擬似糖鎖電子伝達性ペプチド固定化電極を用いた血清中におけるガレクチンの微量分析 (前橋工科大院工<sup>1</sup>・前橋工科大<sup>2</sup>・富山大院理工<sup>3</sup>) ○石崎 空<sup>1</sup>・小平 景人<sup>1</sup>・倉光 英樹<sup>3</sup>・門屋 利彦<sup>2</sup>・菅原 一晴<sup>2</sup>

E3005 (10:30 ~ 10:45) 異なる2種の金属ナノ粒子の架橋による混合色輝点の形成を利用した抗体検出 (愛媛大院理工<sup>1</sup>・九大院工<sup>2</sup>・東ソ<sup>3</sup>・理化学研究所<sup>4</sup>) ○吉村 健<sup>1</sup>・矢野 湧暉<sup>1</sup>・Wahyudin, Patmawati<sup>2</sup>・神谷 典穂<sup>2</sup>・武藤 悠<sup>1,3</sup>・朝日 剛<sup>1</sup>・前田 瑞夫<sup>4</sup>・座古 保<sup>1</sup>

座長 湯川 博

E3006 (14:30 ~ 14:45) 走査型イオンコンダクタンス顕微鏡を利用したヒト血管組織の力学応答の観察 (東北大院環境<sup>1</sup>・東北大学際研<sup>2</sup>・東北大院工<sup>3</sup>・さきがけ<sup>4</sup>・東北大AIMR<sup>5</sup>・金沢大ナノ生命科学研<sup>6</sup>) ○阿部 充里<sup>1</sup>・梨本 裕司<sup>1,2,3</sup>・井田 大貴<sup>1,2,4,5</sup>・熊谷 明哉<sup>1,5</sup>・高橋 康史<sup>4,6</sup>・伊野 浩介<sup>3</sup>・珠玖 仁<sup>1,3</sup>

E3007 (14:45 ~ 15:00) 酵素増感反応による低発現膜タンパク質の検出を目指したキノンメチド型蛍光基質の開発 (九大院システム生命<sup>1</sup>・同仁化学<sup>2</sup>) ○榊井 美咲<sup>1</sup>・小野 啓一郎<sup>1</sup>・野口 克也<sup>2</sup>・下村 隆<sup>2</sup>・大内 雄也<sup>2</sup>・石山 宗孝<sup>2</sup>・志賀 匡宣<sup>2</sup>・上野 右一郎<sup>2</sup>・岸村 顕広<sup>1</sup>・森 健<sup>1</sup>・片山 佳樹<sup>1</sup>

E3008 (15:00 ~ 15:15) 生体内ナトリウムイオンの蛍光イメージング試薬の開発 (九工大院工) 有働 彩乃・佐藤 しのぶ・○竹中 繁織

E3009 (15:15 ~ 15:30) Fabrication of a New Lineage of Artificial Luciferases from Natural Luciferase Pools (産総研環境管理<sup>1</sup>・産総研バイオメディカル<sup>2</sup>・慶大理工<sup>3</sup>) ○金 誠培<sup>1</sup>・西原 諒<sup>2</sup>・Daniel Citterio<sup>3</sup>・鈴木 孝治<sup>3</sup>

座長 伊野 浩介

E3010 (15:45 ~ 16:00) Luciferase-Specific Coelenterazine Analogues for Optical Contamination-Free Bioassays (産総研環境管理<sup>1</sup>・産総研バイオメディカル<sup>2</sup>・慶大院理<sup>3</sup>) ○金 誠培<sup>1</sup>・西原 諒<sup>2</sup>・Daniel Citterio<sup>3</sup>

E3011 (16:00 ~ 16:15) Color-Tunable Bioluminescence Imaging Platform for Cell Imaging (産総研環境管理<sup>1</sup>・電通大先進理工<sup>2</sup>) ○金 誠培<sup>1</sup>・北田 昇雄<sup>2</sup>・牧 昌次郎<sup>2</sup>

E3012 (16:15 ~ 16:30) In vitro Determination of Rapamycin-Triggered FKBP-FRB Interactions Using a Molecular Tension Probe (産総研環境管理<sup>1</sup>・産総研バイオメディカル<sup>2</sup>・慶大理工<sup>3</sup>) ○金 誠培<sup>1</sup>・西原 諒<sup>2</sup>・鈴木 孝治<sup>3</sup>

E3013 (16:30 ~ 16:45) Highly Sensitive Eight-Channel Light Sensing System for Biomedical Applications (産総研環境管理<sup>1</sup>・Stanford Medicine<sup>2</sup>) ○金 誠培<sup>1</sup>・Sharon Hori<sup>2</sup>・Ramassamy Paulmurugan<sup>2</sup>

## F 会場

### 第一日 (9月16日)

座長 巽 広輔

F1001 (9:30 ~ 9:45) ベンゼンジオールの金電極への吸着特性評価 (名工大院工) ○丸本 健志・安井 孝志

F1002 (9:45 ~ 10:00) アニオン濃縮のためのポリメチレンブルー膜修飾電極の作製と性能評価 (名工大院工) ○松下 良・鈴木 遊太・鈴木 正人・安井 孝志

F1003 (10:00 ~ 10:15) 水素吸蔵金属を用いる水溶液のpH制御 (名工大院工) ○藤田 未希・安井 孝志

座長 水口 仁志

F1004 (10:30 ~ 10:45) 動的ソフトテンプレート法によるナノ多孔質金薄膜のメッキ形成および電気化学分析への応用 (愛媛大院理工<sup>1</sup>・埼玉工大<sup>2</sup>・産総研<sup>3</sup>・熊本大<sup>4</sup>) ○芝 駿介<sup>1</sup>・平林 捷永<sup>1</sup>・丹羽 修<sup>2</sup>・加藤 大<sup>3</sup>・國武 雅司<sup>4</sup>・松口 正信<sup>1</sup>

F1005 (10:45 ~ 11:00) シャープペンシル芯を電極として用いるポーラログラフイー (信州大理) 深山 敦史・岡田 拓也・○巽 広輔

座長 鈴木 保任

F1006 (14:00 ~ 14:15) 熱溶解積層3Dプリンタを利用したPDMS製流路チップの流路内PDMSコーティングによる流路径の縮小 (富山衛研) ○山下 智富・安川 和志

F1007 (14:15 ~ 14:30) フッ化物イオン電極検出器を用いる乳酸のシーケンシャルインジェクション分析 (芝浦工大) 高橋 憂一・上原 宏斗・○正留 隆

F1008 (14:30 ~ 14:45) 塩化ブチリルコリンイオン選択性電極検出器を用いるブチリルコリンエステラーゼのシーケンシャルインジェクション分析 (芝浦工大) 西山 竜誠・小泉 成正・○正留 隆

F1009 (14:45 ~ 15:00) ビレスロイド系殺虫剤の体内代謝物である3-phenoxybenzoic acid検出に向けたフローインジェクションELISA法の開発 (九大院工) ○石松 亮一・清水 慎一・中野 幸二

座長 石松 亮一

F1010 (15:15 ~ 15:30) LEDを光源とする簡易な吸光度検出器とマイクロリングポンプを用いるフローインジェクション分析装置の開発 (金沢工大バイオ・化学<sup>1</sup>・岡山大インキュベーション<sup>2</sup>・山梨大教育<sup>3</sup>・山梨大院総合研究<sup>4</sup>) ○鈴木 保仁<sup>1</sup>・藤永 薫<sup>1</sup>・大嶋 俊一<sup>1</sup>・坂本 宗明<sup>1</sup>・本水 昌二<sup>2</sup>・山根 兵<sup>3</sup>・川久保 進<sup>4</sup>

F1011 (15:30 ~ 15:45) 環境中全窒素の小型バッチ酸化分解/FIA (愛知工大<sup>1</sup>・日東精工アナリティック<sup>2</sup>) 作田 成久<sup>1</sup>・藤井 亮甫<sup>1</sup>・大野 慎介<sup>2</sup>・村上 博哉<sup>1</sup>・林 則夫<sup>2</sup>・酒井 忠雄<sup>1</sup>・手嶋 紀雄<sup>1</sup>

F1012 (15:45 ~ 16:00) セレン (IV)-2,3-ジアミノナフタレン錯体の逆相イオン交換型固相抽出剤への吸着挙動 (愛知工大<sup>1</sup>・東薬大<sup>2</sup>) 林 美奈<sup>1</sup>・三木 雄太<sup>1</sup>・足立 雅典<sup>1</sup>・村上 博哉<sup>1</sup>・梅村 知也<sup>2</sup>・井上 嘉則<sup>1</sup>・手嶋 紀雄<sup>1</sup>

座長 村上 博哉

#### 【フローインジェクション分析研究懇談会】

F1013 (16:15 ~ 16:45) 加熱を要する反応系を用いたフローインジェクション分析法 (岡山理大理) ○横山 崇

#### 第二日 (9月17日)

座長 芝 駿介

F2001 (9:15 ~ 9:30) フロー電解セルとイオン抽出装置を組み合わせた医療用放射性銅 (<sup>64</sup>Cu) の分離精製 (高知大院理<sup>1</sup>・量研<sup>2</sup>・熊本大院自然<sup>3</sup>・群馬大院理工<sup>4</sup>・熊本大院先端<sup>5</sup>) ○丸山 洋平<sup>1</sup>・須郷 由美<sup>2</sup>・宮地 凌摩<sup>3</sup>・山崎 直亨<sup>4</sup>・大平 慎一<sup>5</sup>・戸田 敬<sup>5</sup>・石岡 典子<sup>2</sup>・森 勝伸<sup>1</sup>

F2002 (9:30 ~ 9:45) トラックエッチ膜フィルター二重電極フローセルにおけるフェノール系化合物の検出挙動・分子構造との関係 (徳島大院理工<sup>1</sup>・神戸大院海事<sup>2</sup>・野村マイクロサイエンス<sup>3</sup>) ○橋本 陸央<sup>1</sup>・桑原 知彦<sup>1</sup>・松本 健嗣<sup>2</sup>・堀田 弘樹<sup>2</sup>・飯山 真充<sup>3</sup>・高柳 俊夫<sup>1</sup>・水口 仁志<sup>1</sup>

F2003 (9:45 ~ 10:00) バイポーラ電極および電気化学発光を用いた高時空間分解能顕微鏡システムの開発 (東北大院環境科学<sup>1</sup>・東北大学際科学フロンティア研<sup>2</sup>・東北大イノベーション戦略推進セ<sup>3</sup>) ○岩間 智紀<sup>1</sup>・井上 (安田) 久美<sup>1</sup>・阿部 博弥<sup>2</sup>・末永 智一<sup>3</sup>・珠玖 仁<sup>1</sup>

座長 前田 耕治

#### 【電気分析化学研究懇談会】

F2004 (10:15 ~ 10:45) グラフェン様構造のカーボンの電気分析化学応用への可能性 (信州大先鋭材料研) ○金子 克美

#### 【電気分析化学研究懇談会】

F2005 (10:45 ~ 11:15) ハイブリッド型のカーボン薄膜を用いた電気化学分析 (埼玉工大、愛媛大、産総研) ○丹羽 修・芝 駿介・鎌田 智之・加藤 大

#### 第三日 (9月18日)

座長 大平 慎一

F3001 (9:00 ~ 9:15) 新規金属錯体コート型陰イオン交換カラムの構築 (名工大院工) ○稲吉 凜香・柏原 佑紀・安井 孝志

F3002 (9:15 ~ 9:30) 合金クラスターの配位子交換反応のメカニズム解明: 高速液体クロマトグラフィーを用いた反応中間体の追跡 (東理大院理) ○堀畑 洸・海老名 彩乃・川脇 徳久・根岸 雄一

F3003 (9:30 ~ 9:45) DNPH誘導体化/HPLC法による特定悪臭物質アルデヒド類の定量 (近江オドエアーサービス) ○齊藤 幸・安陪 智史

座長 齊戸 美弘

F3004 (10:00 ~ 10:15) pH検出器による弱酸のユニバーサル検出と実試料への応用 (熊本大院先端<sup>1</sup>・熊本大理<sup>2</sup>) ○大平 慎一<sup>1</sup>・佐藤 裕香<sup>2</sup>・戸田 敬<sup>1</sup>

F3005 (10:15 ~ 10:30) 周波数分割多重化法を応用した新規マルチプレックス6HPLC-MSの開発 (名工大院工) ○先田 廉・岸 博香・北川 慎也・大谷 肇

座長 中村 洋

#### 【液体クロマトグラフィー研究懇談会】

F3006 (10:45 ~ 11:15) 超純水装置の進化とLC、LC/MS分析の効率化・精度向上への寄与 (メルク) ○石井 直恵

座長 江坂 幸宏

F3007 (14:45 ~ 15:00)  $\pi$ 相互作用クロマトグラフィーとその応用 (京大院工) ○久保 拓也・大塚 浩二

F3008 (15:00 ~ 15:15) 表面気泡変調液体クロマトグラフィーによる気体の分離分析 (埼玉大院理工) 中野 陽介・水野 恒・半田 友衣子・齋藤 伸吾・洪川 雅美

F3009 (15:15 ~ 15:30) 合成細繊維を組紐状に配列したLC用新規試料前処理媒体 (豊橋技科大工<sup>1</sup>・山梨大工<sup>2</sup>) ○中神 光喜<sup>1</sup>・隅谷 王士郎<sup>1</sup>・清水 佳一<sup>1</sup>・小池 凌太<sup>1</sup>・植田 郁生<sup>2</sup>・齊戸 美弘<sup>1</sup>

座長 久保 拓也

F3010 (15:45 ~ 16:00) アルカリクロライドと水の共融混合物を用いた低温での微量成分濃縮法<sup>2</sup> (神奈川大理) ○荒井 健・西本 右子

F3011 (16:00 ~ 16:15) 光重合性Phos-tag含有アクリルアミドゲルを用いるリン酸化化合物のオンライン高感度検出システムの構築 (近畿大薬) ○山本 佐知雄・矢野 祥子・増田 誠子・木下 充弘・鈴木 茂生

F3012 (16:15 ~ 16:30) LVSEP-CZE - 間接吸収検出法による網膜中コハク酸定量法の開発 (岐阜薬大<sup>1</sup>・岐大院連合創薬<sup>2</sup>・長崎大病院<sup>3</sup>・広大院工<sup>4</sup>) ○江坂 幸宏<sup>1,2</sup>・濱田 修作<sup>1</sup>・宮城 清弦<sup>1,3</sup>・原 英彰<sup>1</sup>・廣川 健<sup>4</sup>

#### G 会場

#### 第一日 (9月16日)

座長 Citterio Daniel

G1001 (9:00 ~ 9:15) Colorimetric Detection of Saccharides in Real Samples Using a Paper-based Microarray (東大生研) ○呂 曉俊・Vahid Hamedpour・南 豪

G1002 (9:15 ~ 9:30) 蛍光性色素液体を用いたFRET検出型PVC膜オプトードの開発と超高感度イオンセンシングへの応用 (阪府大院工) ○水田 巽・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明

G1003 (9:30 ~ 9:45) ランタノイドアップコンバージョンナノ粒子 (UCNPs) の開発とオプティカルセンサへの応用 (富山大院理工) ○原田 大輔・菅野 憲・遠田 浩司

G1004 (9:45 ~ 10:00) 分子インプリンティングによる機能性微小プローブの開発 (阪府大工<sup>1</sup>・新潟大医<sup>2</sup>) ○孫 術益<sup>1</sup>・岩本 晃太<sup>1</sup>・田邊 壮<sup>1</sup>・緒方 元気<sup>2</sup>・日比野 浩<sup>2</sup>・椎木 弘<sup>1</sup>

G1005 (10:00 ~ 10:15) コラーゲン類縁体ペプチドを用いた化学センサーの合成および分光特性 (東工大<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○福地 みなみ<sup>1</sup>・福原 学<sup>1,2</sup>

座長 青木 寛

#### 【化学センサー研究懇談会】

G1006 (10:30 ~ 11:00) Paper-Based Analytical Devices for Simple Semiquantitative Signal Readout (慶大理工) ○Citte-rio, Daniel

#### 【ランチタイムオンラインセミナー】

島津製作所 (12:10 ~ 12:50) 新型コロナウイルスへの対策: リモートワーク支援を中心とした島津製作所の取り組みのご紹介  
座長 福原 学

G1007 (13:30 ~ 13:45) 銀イオンを担持したゼオライト/カーボンペースト電極による尿素の非酵素型電気化学的センサーの開発 (信州大院理工<sup>1</sup>・信州大理<sup>2</sup>・カイジョー<sup>3</sup>) ○QIRAN ZHANG<sup>1</sup>・依田 佑司<sup>2</sup>・若宮 雅紀<sup>3</sup>・副島 潤一郎<sup>3</sup>・金 継業<sup>2</sup>

G1008 (13:45 ~ 14:00) 酵素反応と有機金属構造体を用いる日常の排尿から腎機能低下を検知可能な電気化学尿タンパクセンサ (東北大院環境<sup>1</sup>・東北大院工<sup>2</sup>・東北大学際研<sup>3</sup>・東北大イノベセ<sup>4</sup>) ○伊藤 健太郎<sup>1</sup>・井上 (安田) 久美<sup>1</sup>・三浦 翼<sup>1</sup>・伊野 浩介<sup>2</sup>・梨本 裕司<sup>2,3</sup>・末永 智一<sup>4</sup>・珠玖 仁<sup>2</sup>

G1009 (14:00 ~ 14:15) 細胞質導電率に依存した電気回転現象に基づく細胞分化の評価 (兵庫県大院物質理) ○竹内 梨乃・鈴木 雅登・安川 智之

G1010 (14:15 ~ 14:30) 皮膚ガス発生機構への考察 表皮・皮下組織からのルート及び疑皮膚ガスのルート (ピコデバイス) ○津田 孝雄・津田 梢

座長 南 豪

G1011 (14:45 ~ 15:00) スマネン化学センサーを用いる分子認識ならびにスタック挙動の解明 (東工大<sup>1</sup>・阪大院工<sup>2</sup>・JST さきがけ<sup>3</sup>) ○水野 裕彬<sup>1</sup>・宮川 晃尚<sup>1</sup>・焼山 佑美<sup>2</sup>・櫻井 英博<sup>2</sup>・福原 学<sup>1,3</sup>

G1012 (15:00 ~ 15:15) 認識部位が独立して働く化学センサーの構築 (東工大<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○鈴木 渉<sup>1</sup>・福原 学<sup>1,2</sup>

G1013 (15:15 ~ 15:30) ナノ多孔材料とヒドロゲルを用いたポンプフリー FIA システムの開発 (茨城大量子線科学) ○稲葉 大輝・佐藤 悠希・山口 央

G1014 (15:30 ~ 15:45) ワイヤレス給電技術を利用したルテニウム (II) 錯体/トリプロピルアミン系電気化学発光の基礎検討 (信州大理) ○田中 竜太郎・新井 優太・高橋 史樹

座長 山口 央

G1015 (16:00 ~ 16:15) メタ表面センサの開発 (横国大工) ○西島 喜明

G1016 (16:15 ~ 16:30) 金蒸着ガラス棒 SPR センサーにおける金表面の修飾と汚染防止性能の関係 (鹿児島大院理工<sup>1</sup>・山本金属製作所<sup>2</sup>) ○今村 彰宏<sup>1</sup>・満塩 勝<sup>1</sup>・吉留 俊史<sup>1</sup>・山内 貴行<sup>2</sup>・新堂 正俊<sup>2</sup>・肥後 盛秀<sup>2</sup>・山本 憲吾<sup>2</sup>

G1017 (16:30 ~ 16:45) 合金薄膜の表面プラズモン共鳴現象を用いたセンサーの基礎研究 (鹿児島大院理工<sup>1</sup>・鹿児島大機器分析セ<sup>2</sup>・山本金属製作所<sup>3</sup>) ○奈須 慎太郎<sup>1</sup>・吉留 俊史<sup>1</sup>・久保 臣悟<sup>2</sup>・満塩 勝<sup>1</sup>・肥後 盛秀<sup>3</sup>

## 第二日 (9月17日)

座長 安達 健太

G2001 (9:15 ~ 9:30) メソポーラスシリカ粒子に対するミオグロビンの吸着分布状態の解析 (茨城大量子線科学) ○會澤 茉弥・山口 央

G2002 (9:30 ~ 9:45) 蛍光分子を共有結合で担持させたメソポーラスシリカナノ粒子の物性評価 (福岡大理) ○中村 育美・吉田 亨次・萩原 祐太・塩路 幸生・栗崎 敏・山口 敏男

G2003 (9:45 ~ 10:00) 銀ナノ粒子/チオフェノール系吸着分子/銀薄膜界面で起きる光誘起反応分析 (埼玉大院理工) ○二又 政之・田部井 香苗・赤井 啓太郎

G2004 (10:00 ~ 10:15) 多波長励起光熱変換顕微鏡による粒子径の異なる金ナノ粒子の識別に関する検討 (和歌山大システム工<sup>1</sup>・紀州技研<sup>2</sup>) ○中原 佳夫<sup>1</sup>・宮崎 淳<sup>1</sup>・西中 信貴<sup>1</sup>・家永 隆史<sup>2</sup>・矢嶋 摂子<sup>1</sup>

G2005 (10:15 ~ 10:30) LC/MSによる新規合金ナノクラスター生成メカニズムの解明 (東理大院理) ○海老名 彩乃・堀畑 洸・川脇 徳久・根岸 雄一

座長 塚原 聡

#### 【溶液界面研究懇談会】

G2006 (10:45 ~ 11:15) 光ピンセットを用いたエアロゾル研究 (広島大院先進理工) ○石坂 昌司

## 第三日 (9月18日)

座長 福山 真央

G3001 (9:30 ~ 9:45) 液液界面をモデル反応場としたミトキサントロンの膜透過反応機構の検討 (金沢大院自然) ○真下 隆都・西山 嘉男・永谷 広久

G3002 (9:45 ~ 10:00) アニオン添加による蛍光性カチオンのリン脂質小胞内への自己濃縮 (京工繊大院工芸科学) ○石田 尚人・堀 貴翔・大松 照政・湊 螢・吉田 裕美・前田 耕治

G3003 (10:00 ~ 10:15) 攪拌状態において測定された油/水界面に吸着した色素の光吸収スペクトルの解析 (阪大院理) ○欠 絢香・塚原 聡

G3004 (10:15 ~ 10:30) Application of a fluorescence-based technique in the analysis of block copolymer micelles that are exposed to mechanical stresses. (ミズーリ州立大) ○Keiichi Yoshimatsu・Tyler Odom・Jacob Blankenship・Giselle Campos

G3005 (10:30 ~ 10:45) ポリオレフィン/直鎖アルキルアミン複合体: 表面における分子集合幾何学模様 (山口大院創成科学) ○有馬 悠輔・安達 健太

座長 永谷 広久

G3006 (14:30 ~ 14:45) マイクロバブル表面の光学的張力測定 (東北大多元研<sup>1</sup>・東北大院理<sup>2</sup>) ○桜庭 幹太<sup>1,2</sup>・曾根 ゆり<sup>1,2</sup>・福山 真央<sup>1</sup>・火原 彰秀<sup>1</sup>

G3007 (14:45 ~ 15:00) ビス (2-エチルヘキシル) スルホコハク酸ナトリウム水溶液の気-液界面レオロジー特性及び泡沫特性に対するポリプロピレングリコール添加の効果 (和歌山大システム工<sup>1</sup>・花王<sup>2</sup>) ○青野 恵太<sup>1,2</sup>・鈴木 不律<sup>2</sup>・蓬田 佳弘<sup>2</sup>・蓮見 基充<sup>2</sup>・門 晋平<sup>1</sup>・中原 佳夫<sup>1</sup>・矢嶋 摂子<sup>1</sup>

G3008 (15:00 ~ 15:15) ダブルビームレーザー捕捉法を用いたエアロゾル水滴の蒸気圧に関する研究 (広島大院理) ○田中 悠太・石坂 昌司

- G3009 (15:15 ~ 15:30) 数 $\mu\text{m}$ の微粒子および有機液滴の誘電泳動挙動の顕微測定 (阪大理) ○神保 直樹・山梨 祥人・塚原 聡  
座長 椎木 弘
- G3010 (15:45 ~ 16:00) 塩水溶液中における磁性ナノ粒子の磁気配向線二色性 (阪大INSD) ○渡會 仁
- G3011 (16:00 ~ 16:15) 細孔を用いた電気抵抗法による微粒子計測技術への分子修飾手法開発 (東医歯大生材研) ○堀口 論吉・宮原 裕二
- G3012 (16:15 ~ 16:30) 焼結促進剤によるトリ-n-オクチルホスフィンオキシド修飾Cu@Agコア-シェルナノ粒子の室温融合の検討 (和歌山大システム工<sup>1</sup>・大阪技術研<sup>2</sup>) ○岡田 宗一郎<sup>1</sup>・中原 佳夫<sup>1</sup>・渡辺 充<sup>2</sup>・玉井 聡行<sup>2</sup>・小林 靖之<sup>2</sup>・矢嶋 慎子<sup>1</sup>
- G3013 (16:30 ~ 16:45) 河川から単離した鉛耐性微生物による鉛ナノ化機構の解明 (東大院農) ○加藤 由悟・山本 利義・鈴木 道生

## H 会場

### 第一日 (9月16日)

- 座長 竹井 弘之
- H1001 (9:00 ~ 9:15) 低圧環境下で進行する析出塩化ユウロピウム結晶の不可逆的蛍光増大 (鹿児島大院理工<sup>1</sup>・鹿児島大工<sup>2</sup>) ○吉留 俊史<sup>1</sup>・篤本 純也<sup>2</sup>・橋山 大成<sup>2</sup>・満塩 勝<sup>1</sup>
- H1002 (9:15 ~ 9:30) 低波数ストークス・アンチストークス分光法によるL-cystineの温度測定 (堀場テクノサービス) ○中田 靖・相馬 結花・磯 瑛司・沼田 朋子
- H1003 (9:30 ~ 9:45) 共通光路スペクトル干渉計測に基づく円二色性測定法の開発 (金沢大院自然) ○西山 嘉男・石川 翔一・永谷 広久
- H1004 (9:45 ~ 10:00) 赤外光導波路センサーによる水中溶存CO<sub>2</sub>の定量 (神戸大院海事<sup>1</sup>・神戸国際海事研究セ<sup>2</sup>・紀本電子工業<sup>3</sup>) ○堀田 弘樹<sup>1,2</sup>・孟 広治<sup>1</sup>・谷嵐 正之<sup>1</sup>・角田 欣一<sup>2</sup>・紀本 岳志<sup>3</sup>
- 座長 安井 孝志
- H1005 (10:15 ~ 10:30) 赤外pMAIRS法による直鎖アルカンが薄膜中で示す偶奇効果の解明 (京大化研) ○吉田 茉莉子・塩谷 暢貴・藤井 正道・下赤 卓史・長谷川 健
- H1006 (10:30 ~ 10:45) 高濃度リチウム塩水溶液中の水の電子状態の研究 (近大理工) ○森澤 勇介・竹腰 真聡・上野 那美
- H1007 (10:45 ~ 11:00) NMR信号強度に対する高濃度リチウム塩水溶液のイオン間相互作用と水和構造の影響 (神戸大工<sup>1</sup>・神戸大環境保全推進セ<sup>2</sup>・神戸大院工<sup>3</sup>) ○松田 玲依<sup>1</sup>・牧 秀志<sup>2,3</sup>・水畑 穰<sup>3</sup>
- 座長 伊藤 彰英
- H1008 (13:15 ~ 13:30) プラズマ内の酸化物イオン信号分布計測に基づいたICP-MSにおける炭素増感効果の基礎的研究 (産総研計量標準) ○有賀 智子・朱 彦北・稲垣 和三
- H1009 (13:30 ~ 13:45) LA-ICP-MSによる土壌元素成分の定量分析 (産総研計量標準<sup>1</sup>・米国LBNL<sup>2</sup>) ○朱 彦北<sup>1</sup>・Jhanis J. Gonzalez<sup>2</sup>・George C.-Y. Chan<sup>2</sup>・Xianglei Mao<sup>2</sup>・Rick E. Russo<sup>2</sup>・Vassilia Zorba<sup>2</sup>
- H1010 (13:45 ~ 14:00) 原子スペクトル分析法による定量下限の実験の見積もりと相互比較 (明星大院理工) ○上本 道久・村山 晃人

座長 田中 佑樹

### 【論文賞講演】

- H1011 (14:00 ~ 14:30) レーザーアブレーションICP-MSによるナノ粒子のイメージング分析法の開発 (東大院理) ○山下 修司・鈴木 敏弘・平田 岳史
- 座長 朱 彦北
- H1012 講演中止
- H1013 (15:00 ~ 15:15) 都市域河川水中レアメタルの広域濃度分布測定と潜在的人為汚染調査 (麻布大院環境保健<sup>1</sup>・麻布大生命環境<sup>2</sup>・麻布大獣医<sup>3</sup>) ○八井田 朱音<sup>1</sup>・大塚 理子<sup>1</sup>・近藤 絃昌<sup>1</sup>・山田 安咲紀<sup>2</sup>・中野 和彦<sup>2</sup>・関本 征史<sup>2</sup>・松井 久美<sup>3</sup>・伊藤 彰英<sup>2</sup>
- H1014 (15:15 ~ 15:30) レーザーアブレーション-ICP質量分析法を用いたイメージング分析の高感度・高速化 (東大院理) ○平田 岳史・山下 修司・フィーシンク・中里 雅樹

### 第二日 (9月17日)

- 座長 桑原 哲夫
- H2001 (9:30 ~ 9:45) がん光熱療法を志向した近赤外吸収ジラジカル白金錯体の細胞内分光イメージングとがん細胞殺傷効果 (東北大院環境) ○澤村 瞭太・鈴木 敦子・壹岐 伸彦
- H2002 (9:45 ~ 10:00) Electrochemical Assay for Selective Recognition of Fructose and Glucose Based on Supramolecular Complexes of Boronic Acids Probe with  $\beta$ -Cyclodextrins. (上智大理工) ○Maria Antonietta Casulli・橋本 剛・早下 隆士
- H2003 (10:00 ~ 10:15)  $\alpha$ -アゾフェニルホウ素誘導体によるフッ化物イオンのセンシングおよび反応メカニズムの解明 (早大院先進理工<sup>1</sup>・千葉工大工<sup>2</sup>) ○池田 あゆみ<sup>1</sup>・鈴木 陽太<sup>1</sup>・菅谷 知明<sup>2</sup>・石原 浩二<sup>1</sup>
- H2004 (10:15 ~ 10:30) 高い酸性度のボロン酸を骨格内に有するジボロン酸型比色糖化学センサーの開発 (早大院先進理工<sup>1</sup>・千葉工大工<sup>2</sup>) ○鈴木 陽太<sup>1</sup>・菅原 梨沙<sup>1</sup>・菅谷 知明<sup>2</sup>・石原 浩二<sup>1</sup>
- 座長 片山 佳樹
- 【分析試薬研究懇談会】
- H2005 (10:45 ~ 11:15) 単一細胞解析デバイスの開発 (九大院工) ○加地 範匡

## 若手ポスター

### 第一日 (9月16日)

- Y1001 (11:00 ~ 12:00) 超純水中微量金属イオンの連続モニタリングのための流量制御インライン濃縮 (熊本大院自然<sup>1</sup>・熊本大院先端<sup>2</sup>・栗田工業<sup>3</sup>) ○岡崎 有祐<sup>1</sup>・大平 慎一<sup>2</sup>・星 重行<sup>3</sup>・戸田 敬<sup>2</sup>
- Y1002 (11:00 ~ 12:00) 液体電極プラズマ発光分析法 (LEP-AES) におけるGaとInの発光強度 (2) アルカリ金属イオンの影響 (東京電機大院工<sup>1</sup>・東京電機大工<sup>2</sup>) ○坂井 駿仁<sup>1</sup>・保倉 明子<sup>2</sup>
- Y1003 (11:00 ~ 12:00) 誘電体バリア放電プラズマ脱離による表面付着物分析法の開発 (関西学院大院理工<sup>1</sup>・東工大未来産業技術研<sup>2</sup>・東大院理<sup>3</sup>・理研Spring-8セ<sup>4</sup>) ○岡田 将太<sup>1</sup>・御船 星<sup>1</sup>・吉田 真優子<sup>2</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>4</sup>・宮原 秀一<sup>3</sup>・沖野 晃俊<sup>2</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>

- Y1004 (11:00 ~ 12:00) SERS法による農作物表面の残留農薬のin situ検出(東洋大院生命<sup>1</sup>・東洋大生命<sup>2</sup>・理研<sup>3</sup>・東洋大バイオナノセ<sup>4</sup>) ○齋藤 暢顕<sup>1</sup>・渡辺 康介<sup>1</sup>・野中 風<sup>2</sup>・荻根 魁<sup>2</sup>・岡本 隆之<sup>3</sup>・竹井 弘之<sup>4</sup>
- Y1005 (11:00 ~ 12:00) 凍結によるラマン分光の高感度化と汎用的な凍結系の探索(東工大院理) ○福永 悠・原田 誠・岡田 哲男
- Y1006 (11:00 ~ 12:00) 蝶鱗粉の階層的三次元構造を活用したSERS基板作製の最適化と信号強度の評価(東洋大院生命<sup>1</sup>・東洋大バイオナノセ<sup>2</sup>) ○山崎 桃果<sup>1</sup>・長田 一輝<sup>1</sup>・竹井 弘之<sup>2</sup>
- Y1007 (11:00 ~ 12:00) 急速酸化反応におけるSiとCuOの粒径変化がSiO<sub>x</sub> ナノワイヤー形成に与える影響(三重大院工<sup>1</sup>・三重国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○菅沼 康太<sup>1</sup>・小塩 明<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>
- Y1008 (11:00 ~ 12:00) サイクラムCu(II) 錯体とバナジウム酸化物によるMOFの合成及び結晶構造解析(東理大院理) ○栗城 太郎・岩城 徹也・野元 邦治・本田 暁紀・宮村 一夫
- Y1009 (11:00 ~ 12:00) フェノチアジン系酸化還元色素修飾電極の構築~カーボンペーストの評価~(名工大院工) ○鳥居 航・松下 良・鈴木 遊太・安井 孝志
- Y1010 (11:00 ~ 12:00) Cellophane-Based Analytical Devices for Hue-Based Assays and White Turbidity Testing(慶大理工) ○繁森 弘基・前島 健人・柴田 寛之・蛭田 勇樹・Daniel Citterio
- Y1011 (11:00 ~ 12:00) 電気化学的制御を利用した過酸化水素蛍光モニタリング系の開発(茨城大量子線科学) ○雑賀 将大・山口 央
- Y1012 (11:00 ~ 12:00) 一粒のキレート樹脂を利用した生体環境からのCa<sup>2+</sup>の回収(豊橋技科大院工<sup>1</sup>・豊橋技科大工<sup>2</sup>・豊橋技科大教研基盤セ<sup>3</sup>) ○齋藤 裕史<sup>1</sup>・Muhammad. Syafiq. Suhaimi. Subramaniam<sup>2</sup>・澤田 和明<sup>1</sup>・加藤 亮<sup>3</sup>・永井 萌土<sup>1</sup>・柴田 隆行<sup>1</sup>・服部 敏明<sup>1</sup>
- Y1013 (11:00 ~ 12:00) ゴムシート貼付金蒸着角型ガラス棒SPRセンサーを用いた温度補正に関する研究(鹿児島大院理工) ○宮原 晶宏・吉留 俊史・満塩 勝
- Y1014 (11:00 ~ 12:00) アルコキシ鎖末端にフェノキシ基を導入したNi(II) salen型錯体の熱特性解析(東理大院理) ○安本 隼人・福島 優太・前間 彬・本田 暁紀・宮村 一夫
- Y1015 (11:00 ~ 12:00) ESI-MSを用いた天然水中のFe(II)の定量方法の開発(東京海洋大院<sup>1</sup>・東京海洋大学術研究院<sup>2</sup>) ○小田 恭平<sup>1</sup>・田中 美穂<sup>2</sup>
- Y1016 (11:00 ~ 12:00) PDMS製マイクロ流体チップの特性を活かした外部ポンプフリーな高速ドロップレット調製法の開発(同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○岡山 翔太郎<sup>1</sup>・中谷 将也<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>
- Y1017 (11:00 ~ 12:00) MEMS加工表面改質を施したガス分析捕集デバイスmicro wet denuderの開発と評価(熊本大院自然<sup>1</sup>・熊本大院先端(工)<sup>2</sup>・熊本大院先端(理)<sup>3</sup>) ○下平 晃輝<sup>1</sup>・岩崎 真和<sup>1</sup>・中島 雄太<sup>2</sup>・大平 慎一<sup>3</sup>・戸田 敬<sup>3</sup>
- Y1018 (11:00 ~ 12:00) 日局葛根湯エキスの定量試験に使用可能なカラムの性能評価(クラシエ製薬) ○宮之脇 翔太・内林 瑠美・小此木 明・高橋 隆二
- Y1019 (11:00 ~ 12:00) PM2.5採取時におけるガス状アルカンのフィルターへの吸着挙動の評価(山梨大院工) ○小山 智也・住家 克典・植田 郁生
- Y1020 (11:00 ~ 12:00) キャピラリー分子ふるい電気泳動に基づく低分子標的アプタマー選抜法(阪府大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○和田 将英<sup>1</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>・末吉 健志<sup>1,2</sup>
- Y1021 (11:00 ~ 12:00) カルボキシメチル化ポリエチレンイミン型キレート樹脂を用いる自動高速固相抽出分離システム(富山大院理工(工)) ○横田 優貴・源明 誠・井上 嘉則・加賀谷 重浩
- Y1022 (11:00 ~ 12:00) 微量元素の固相抽出分離操作の簡便化:採水現場での高速分離濃縮への応用(富山大院理工) ○木村 泰我・三根 由加味・横田 優貴・井上 嘉則・源明 誠・加賀谷 重浩
- Y1023 (11:00 ~ 12:00) S-マンデル酸由来キラルアミドレセプターを有するポリ(フェニルアセチレン)の合成と不斉アニオンの比色検出(旭川高専<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>) ○尾形 佳亮<sup>1</sup>・松山 あいり<sup>1</sup>・梅田 哲<sup>1</sup>・津田 勝幸<sup>1</sup>・佐藤 敏文<sup>2</sup>・覚知 豊次<sup>2</sup>・堺井 亮介<sup>1</sup>
- Y1024 (11:00 ~ 12:00) アルキルスペーサーで連結したクマリン-シクロデキストリン誘導体の分子包接と分子認識特性(山梨大院総研) ○照井 重光・細川 侑汰・桑原 哲夫
- Y1025 (11:00 ~ 12:00) 凍結水溶液の局所pHとそれを支配する要因(東工大院理) ○片岡 駿・原田 誠・岡田 哲男
- Y1026 (11:00 ~ 12:00) 富士山山頂の雲水からのイミダゾール類の検出:雲水にイミダゾールは存在するか?またその起源は?(熊本大院自然<sup>1</sup>・熊本大院先端<sup>2</sup>・早大院創造理工<sup>3</sup>) ○永富 加奈子<sup>1</sup>・和泉 椋<sup>1</sup>・大力 充雄<sup>3</sup>・佐伯 健太郎<sup>1</sup>・光石 夏澄<sup>1</sup>・大平 慎一<sup>2</sup>・大河内 博<sup>3</sup>・戸田 敬<sup>2</sup>
- Y1027 (11:00 ~ 12:00) 水中ヘキサクロロベンゼンの金属担持アトミセル処理に向けた複合金属微粒子の改良(名大院工<sup>1</sup>・名大未来機構<sup>2</sup>) ○田保 悠登<sup>1</sup>・田中 寛人<sup>1</sup>・松宮 弘明<sup>2</sup>
- Y1028 (11:00 ~ 12:00) 鉛同位体比測定による四国の都市域および山岳市域で採取した雨試料中の鉛の発生源解析(徳島大院創成科学<sup>1</sup>・徳島大学総合科学<sup>2</sup>・海洋開発研究機構<sup>3</sup>・マリン・ワーク・ジャパン<sup>4</sup>・徳島大院社産理工<sup>5</sup>) ○村瀬 遼亮<sup>1</sup>・田中 稜真<sup>2</sup>・中田 亮一<sup>3</sup>・永石 一弥<sup>4</sup>・山本 祐平<sup>5</sup>・今井 昭二<sup>5</sup>
- Y1029 (11:00 ~ 12:00) 多流路循環型抽出装置による土壌からの水銀溶出の可能性評価(高知大院理工) ○土居 陸卓・濱崎 真一・小崎 大輔・森 勝伸
- Y1030 (11:00 ~ 12:00) 側鎖にL-グルタミンおよびL-トリプトファン由来キラルアミドレセプターを導入したポリ(フェニルアセチレン)のキラル識別能の評価(旭川高専<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>) ○長井 世梨花<sup>1</sup>・鈴木 涼太<sup>2</sup>・梅田 哲<sup>1</sup>・津田 勝幸<sup>1</sup>・佐藤 敏文<sup>2</sup>・覚知 豊次<sup>2</sup>・堺井 亮介<sup>1</sup>
- Y1031 (11:00 ~ 12:00) パルス法NMRを用いた可塑剤含量の異なるPVC膜の新規物性評価法の開発(阪工大工<sup>1</sup>・兵庫県大院工<sup>2</sup>) 森内 隆代<sup>1</sup>・関口 ゆりあ<sup>1</sup>・藤森 啓一<sup>1</sup>・浦濱 圭彬<sup>2</sup>
- Y1032 (11:00 ~ 12:00) 冷凍保存したニラの鮮度評価について(函館高専) ○新山 聡之・清野 晃之
- Y1033 (11:00 ~ 12:00) 複数の低発現膜タンパク質の同時検出を可能とする酵素応答性基質の開発(九大院工<sup>1</sup>・九大シス生<sup>2</sup>・九大分子CMS<sup>3</sup>・九大未来化セ<sup>4</sup>) ○金子 諒右<sup>1</sup>・川村 真朱美<sup>2</sup>・岸村 顕広<sup>1,2,3</sup>・森 健<sup>1,2,4</sup>・片山 佳樹<sup>1,2,3,4</sup>

- Y1034 (11:00 ~ 12:00) ddPCRにおいてドロプレットサイズが蛍光シグナルリードアウトに及ぼす影響 (同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○山本 龍世<sup>1</sup>・中村 祐介<sup>1</sup>・野出 瑠海<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>
- Y1035 (11:00 ~ 12:00) プラズモニック結晶を用いた非染色PCR産物検出デバイスの開発 (阪府大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○古川 颯大<sup>1</sup>・井上 千種<sup>1</sup>・川崎 大輝<sup>1</sup>・山田 大空<sup>1</sup>・末吉 健志<sup>1,2</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>
- Y1036 (11:00 ~ 12:00) 1分子モレキュラービーコン固定化金ナノ粒子の作製と蛍光特性評価 (東理大院基礎工<sup>1</sup>・東理大基礎工教養<sup>2</sup>) ○向田 茜<sup>1</sup>・秋山 好嗣<sup>2</sup>・上村 真生<sup>1</sup>
- Y1037 (11:00 ~ 12:00) パーティクルカウンターを使ったヒト呼気中のエアロゾル粒度分布とそれを応用した薬物濃度測定 (中部大応生<sup>1</sup>・東海光学<sup>2</sup>) ○岡平 桃葉<sup>1</sup>・岩出 真歩<sup>1</sup>・伊藤 宏<sup>1</sup>・山本 良平<sup>1</sup>・山本 敦<sup>1</sup>・加藤 祐史<sup>2</sup>
- Y1038 (11:00 ~ 12:00) メチレン鎖の両末端にピリジニル基を導入した [Ni (dmit)<sub>2</sub>] 錯塩の結晶構造解析 (東理大院理) ○町田 寛人・吉口 優人・本田 暁紀・宮村 一夫
- 第二日 (9月17日)**
- Y2001 (11:30 ~ 12:30) ICP-MSによる海水中微量金属元素の網羅的定量を可能にするハイブリット脱塩濃縮法の開発 (麻布大院環境保健<sup>1</sup>・麻布大生命環境<sup>2</sup>) ○岡田 浩太郎<sup>1</sup>・中野 和彦<sup>2</sup>・伊藤 彰英<sup>2</sup>
- Y2002 (11:30 ~ 12:30) ヘリウムマイクロプラズマを用いたTLC板上に存在する含ハロゲン有機化合物の元素選択的オンサイト検出 (日大生産工院<sup>1</sup>・日大生産工<sup>2</sup>) ○米津 優彦<sup>1</sup>・高野 真佐志<sup>1</sup>・山根 庸平<sup>2</sup>・中釜 達朗<sup>2</sup>
- Y2003 (11:30 ~ 12:30) 表面増強蛍光法による酵素反応のリアルタイムモニタリング (東洋大院生命<sup>1</sup>・東洋大バイオナノ<sup>2</sup>) ○草場 勇哉<sup>1</sup>・竹井 弘之<sup>1,2</sup>
- Y2004 (11:30 ~ 12:30) ラマン分光法によるオレイン酸熱異性化反応の追跡 (日大院工<sup>1</sup>・日大工<sup>2</sup>) ○高橋 格<sup>1</sup>・高坂 雅樹<sup>2</sup>・沼田 靖<sup>2</sup>・田中 裕之<sup>2</sup>
- Y2005 (11:30 ~ 12:30) SERS法による血管内皮細胞の薬物応答性評価 (東洋大院生命<sup>1</sup>・東洋大生命<sup>2</sup>・東洋大バイオナノセ<sup>3</sup>) ○布施 知大<sup>1</sup>・中川 侑香<sup>1</sup>・宮坂 智朗<sup>2</sup>・金子 律子<sup>2</sup>・竹井 弘之<sup>2,3</sup>
- Y2006 (11:30 ~ 12:30) 単結晶氷に取り込まれたイオンの局所構造 (東工大理) ○屋嶋 悠河・原田 誠・岡田 哲男
- Y2007 講演中止
- Y2008 (11:30 ~ 12:30) 水素吸蔵電極を用いたキトサンゲルの電気化学的体積制御 (名工大院工) ○榎本 秀幸・安井 孝志・高田 主岳
- Y2009 (11:30 ~ 12:30) 高感度イオンセンシングを志向した色素液体ナノエマルジョンの創製 (阪府大院工) ○牧 佳穂・大石 綾太郎・水田 巽・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明
- Y2010 (11:30 ~ 12:30) 金属ナノ粒子による光アンテナの形成に基づいた細菌の可視化と識別 (阪府大院工<sup>1</sup>・阪府大工<sup>2</sup>) ○田邊 壮<sup>1</sup>・浦井 一樹<sup>2</sup>・松井 響平<sup>1</sup>・椎木 弘<sup>1</sup>
- Y2011 (11:30 ~ 12:30) 電極走査型誘電泳動による細胞ペアの形成と融合 (兵庫県大院物質理<sup>1</sup>・三重大院工<sup>2</sup>) ○小野原 郁海<sup>1</sup>・鈴木 雅登<sup>1</sup>・磯崎 勇志<sup>2</sup>・富田 昌弘<sup>2</sup>・安川 智之<sup>1</sup>
- Y2012 (11:30 ~ 12:30) A Colorimetric Chemosensor Array for the Discrimination of Sulfur-containing Amino Acids (東大生研) ○呂 暁俊・横山 裕大・Zhao, Jie・南 豪
- Y2013 (11:30 ~ 12:30) アルキル鎖を導入したフラボノイド誘導体の熱特性 (東理大院理) ○永井 善徳
- Y2014 (11:30 ~ 12:30) アルキル鎖を4つ有するNi (II) salen-dm (OC<sub>n</sub>) の熱挙動 (東理大院理) ○提 海斗・坂口 幹・本田 暁紀・宮村 一夫
- Y2015 (11:30 ~ 12:30) エレクトロスプレーイオン化-イオンモビリティ質量分析法とケンドリックマスディフェクト法を用いた合成高分子解析 (名工大院工<sup>1</sup>・三菱ケミカル<sup>2</sup>) ○尾関 優香<sup>1</sup>・大前 瑞姫<sup>1</sup>・北川 慎也<sup>1</sup>・大谷 肇<sup>1</sup>・近藤 洋輔<sup>2</sup>・品田 弘子<sup>2</sup>
- Y2016 (11:30 ~ 12:30) マルチレイヤー ddPCRマイクロ流体チップの開発 (同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○乾 絵理香<sup>1</sup>・高原 広和<sup>1</sup>・松下 泰大<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>
- Y2017 (11:30 ~ 12:30) プロトン移動反応を利用したハロゲン化物イオンのフローインジェクション分析~ヨウ化物イオンとフッ化物イオンの同時定量~ (名工大院工<sup>1</sup>・名工大工<sup>2</sup>) ○高橋 佑未香<sup>1</sup>・酒井 美帆<sup>2</sup>・安井 孝志<sup>1</sup>
- Y2018 (11:30 ~ 12:30) 機能性高分子を用いた温度制御型タンパク質分離法の開発 (慶大院薬) ○北澤 早紀子・山田 創太・長瀬 健一・金澤 秀子
- Y2019 (11:30 ~ 12:30) 多段階部分的注入アフィニティーキャピラリー電気泳動法による物質間相互作用解析 (阪府大院工<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○光野 恵理子<sup>1</sup>・久本 秀明<sup>1</sup>・遠藤 達郎<sup>1</sup>・末吉 健志<sup>1,2</sup>
- Y2020 (11:30 ~ 12:30) アミノポリホスホン酸固定化シリカゲルによる金属イオンの吸着平衡 (新潟大院自然) ○伊藤 匠実・佐藤 敬一
- Y2021 (11:30 ~ 12:30) 食用油成分による希土類金属イオンの相互抽出分離法の開発と分離性能の検討。(新潟大院自然) ○田下 和実・佐藤 敬一
- Y2022 (11:30 ~ 12:30) オルトアゾフェニルボロン酸を用いた有機溶媒中の水分の比色検出 (早大院先進理工<sup>1</sup>・千葉工大工<sup>2</sup>) ○新谷 佳久<sup>1</sup>・鈴木 陽太<sup>1</sup>・菅谷 知明<sup>2</sup>・石原 浩二<sup>1</sup>
- Y2023 (11:30 ~ 12:30) キノリンを導入したベンゼンジアミドの凝集誘起発光特性とアミノ酸の不斉識別能評価 (阪工大工) 森内 隆代・岡田 拓郎・藤森 啓一
- Y2024 (11:30 ~ 12:30) 超音波浮揚法を用いた硫酸マグネシウム水溶液液滴のラマン散乱とX線回折 (福岡大理<sup>1</sup>・広島大院理<sup>2</sup>・JASRI<sup>3</sup>) ○松尾 俊一郎<sup>1</sup>・中里 駿太郎<sup>1</sup>・秦 菜月<sup>1</sup>・山口 敏男<sup>1</sup>・吉田 亨次<sup>1</sup>・栗崎 敏<sup>1</sup>・石坂 昌司<sup>2</sup>・尾原 幸治<sup>3</sup>
- Y2025 (11:30 ~ 12:30) 大気中ニトロフェノールの気相/粒子間分配に関するortho/para異性体効果 (熊本大院自然<sup>1</sup>・熊本大院先端<sup>2</sup>) ○榎原 邦央<sup>1</sup>・平 美咲<sup>1</sup>・大平 慎一<sup>2</sup>・戸田 敬<sup>2</sup>
- Y2026 (11:30 ~ 12:30) ナノサイズ制御高活性光触媒の開発と有害化学物質分解の応用 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○杉浦 恵里紗<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>
- Y2027 (11:30 ~ 12:30) 可視光応答性光触媒Sn3O4による染料脱色 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○岩本 大地<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

Y2028 (11:30 ~ 12:30) 炭素修飾窒化炭素ナノシートの合成とその可視光水素生成活性 (三重大工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○桑原 周平<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・金子 聡<sup>12</sup>

Y2029 (11:30 ~ 12:30) 遷移金属ドーブTi/ $\alpha$ -PbO<sub>2</sub>/ $\beta$ -PbO<sub>2</sub>メッシュ電極を用いた合成染料の電気化学的脱色 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○柳 玄太<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>12</sup>

Y2030 (11:30 ~ 12:30) 重金属イオンを担持させたリグニンからの機能性炭素材料への変換技術 (高知大院理工<sup>1</sup>・群馬大院理工<sup>2</sup>) ○久安 駿弘磨<sup>1</sup>・森 みかる<sup>1</sup>・田村 隆典<sup>1</sup>・生田 雄己<sup>1</sup>・小崎 大輔<sup>1</sup>・石井 孝文<sup>2</sup>・尾崎 純<sup>2</sup>・森 勝伸<sup>1</sup>

Y2031 (11:30 ~ 12:30) ジチオカルバメート系農薬分析法の問題点とその解決策 (中部大応生<sup>1</sup>・食品分析開発セSUNATEC<sup>2</sup>) ○小出 高羅<sup>1</sup>・菊川 浩史<sup>12</sup>・山口 瑛紀<sup>1</sup>・山本 良平<sup>1</sup>・山本 敦<sup>1</sup>

Y2032 (11:30 ~ 12:30) 酸素フラスコ燃焼法を前処理とするコメ中のヒ素簡易分析法の開発 (鹿児島大院理工) ○山下 一青・島本 英毅・高梨 啓和・中島 常憲

Y2033 (11:30 ~ 12:30) ビベットチップを用いたLDR-CL検出アッセイ (同志社大院理工<sup>1</sup>・同志社大理工<sup>2</sup>) ○天野 博行<sup>1</sup>・左良井 尚吾<sup>1</sup>・橋本 雅彦<sup>2</sup>

Y2034 (11:30 ~ 12:30) 一括電気回転と化学刺激可能なウエル型電極デバイスの開発とイオノフォアが細胞の電気回転速度に与える影響の解析 (兵庫県大院物質理<sup>1</sup>・パナソニック<sup>2</sup>) ○河合 志希保<sup>12</sup>・鈴木 雅登<sup>1</sup>・平岡 類<sup>2</sup>・安川 智之<sup>1</sup>

Y2035 (11:30 ~ 12:30) g-C<sub>3</sub>N<sub>4</sub>ナノシートを蛍光プローブとして利用する生体試料中のグルコース定量 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○横井 嶺<sup>1</sup>・榎原 衣梨<sup>1</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・金子 聡<sup>12</sup>

Y2036 (11:30 ~ 12:30) 生物発光プローブ開発を通じた生細胞内在性RNAi細胞可視化定量法の創出 (東大院理) ○江口 正敏・吉村 英哲・小澤 岳昌

Y2037 (11:30 ~ 12:30) バイオBB弾の異同識別法の検討 (福島県警科捜研) ○小椋 彩音・渡邊 義孝・大和田 慎

Y2038 (11:30 ~ 12:30) 電気化学的手法による有機化学汚染物質の分解法の開発 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○後藤 拳斗<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>12</sup>

### 第三日 (9月18日)

Y3001 (11:30 ~ 12:30) 単一細胞中の微量元素分析のための赤外線脱溶媒装置の開発 (東工大院未来研<sup>1</sup>・東薬大生命<sup>2</sup>・理研SPring-8セ<sup>3</sup>・静大工<sup>4</sup>・関学大理工<sup>5</sup>) ○吉田 真己<sup>1</sup>・末永 祐磨<sup>1</sup>・青木 元秀<sup>2</sup>・岩井 貴弘<sup>3</sup>・梅村 知也<sup>2</sup>・川田 善正<sup>4</sup>・千葉光一<sup>5</sup>・沖野 晃俊<sup>1</sup>

Y3002 (11:30 ~ 12:30) HPLC-ICP-MSを用いたマルチスペクション分析手法の開発 (関学大院理工<sup>1</sup>・理研SPring-8<sup>2</sup>・産総研計量標準<sup>3</sup>) ○一瀬 陸<sup>1</sup>・森 大地<sup>1</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>・成川 知弘<sup>3</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>

Y3003 (11:30 ~ 12:30) 氷に制限された溶液におけるナフトール誘導体の蛍光特性変化 (東工大院理) ○武藤 智也・原田 誠・福原 学・岡田 哲男

Y3004 (11:30 ~ 12:30) アルカンチオール蒸気に対するSERS用ナノ銀樹基板の応答性 (東洋大院生命科学<sup>1</sup>・東洋大生命科学<sup>2</sup>・東洋大バイオナノセ<sup>3</sup>) ○中村 里駆<sup>1</sup>・星野 翔平<sup>1</sup>・落合 悠太<sup>2</sup>・竹井 弘之<sup>123</sup>

Y3005 (11:30 ~ 12:30) ラマン分光法によるワイン中の亜硫酸イオンの定量 (日大院工<sup>1</sup>・日大工<sup>2</sup>) ○中田 大貴<sup>1</sup>・沼田 靖<sup>2</sup>・田中 裕之<sup>2</sup>

Y3006 (11:30 ~ 12:30) 偏光光学系蛍光X線分析装置を用いるアジア米の微量元素定量法の開発および産地判別への適用 (東電大院工<sup>1</sup>・東電大工<sup>2</sup>・農研機構<sup>3</sup>) ○渡辺 光<sup>1</sup>・瀬野 敬<sup>2</sup>・井上 昂哉<sup>1</sup>・三平 航大<sup>1</sup>・保倉 明子<sup>2</sup>・鈴木 彌生子<sup>3</sup>

Y3007 (11:30 ~ 12:30) エージングにおける石炭灰中のフッ素固定化機構の解明 (鹿児島大院理工) ○村上 風・田中 敦・園田 拓哉・高梨 啓和・中島 常憲

Y3008 (11:30 ~ 12:30) CdSe量子ドット修飾電極によるカソードイック電気化学発光反応の基礎検討と応用 (信州大院理工<sup>1</sup>・信州大理<sup>2</sup>) ○西尾 育真<sup>1</sup>・中山 雅之<sup>1</sup>・岡田 正大<sup>2</sup>・高橋 史樹<sup>1</sup>・金 継業<sup>1</sup>

Y3009 (11:30 ~ 12:30) バクテリオファージを利用した高選択的な細菌検出技術の開発 (高知大院総合<sup>1</sup>・麻布大獣医<sup>2</sup>・高知学園大健康<sup>3</sup>) ○今井 斉志<sup>1</sup>・仁子 陽輔<sup>1</sup>・波多野 慎悟<sup>1</sup>・渡辺 茂<sup>1</sup>・内山 伊代<sup>2</sup>・内山 淳平<sup>2</sup>・松崎 茂展<sup>3</sup>

Y3010 (11:30 ~ 12:30) 2次元バーコード検出を利用した紙基板分析デバイス (慶大院理工) ○加登 絢・前島 健人・蛭田 勇樹・チッターリオ ダニエル

Y3011 (11:30 ~ 12:30) ガラスキャピラリーを試料セルとして用いる小型蛍光検出システムの開発 (東薬大薬) ○佐藤 ひな・久保山 稔梨・森岡 和夫・守岩 友紀子・柳田 顕郎・東海林 敦

Y3012 (11:30 ~ 12:30) 2つのメチル基を導入したアゾ色素化合物アルキル誘導体の熱的挙動の解析 (東理大院理) ○日比 友貴絵・松本 和真・本田 暁紀・宮村 一夫

Y3013 (11:30 ~ 12:30) メチル基を3つ導入したNi (II) salenアルコキシ誘導体の熱挙動 (東理大院理) ○大島 瑞希・大河内 しおり・本田 暁紀・宮村 一夫

Y3014 (11:30 ~ 12:30) SALDI-MSにおける検出感度向上のための薄層シリカ-チタニア複合モノリス作製法の検討 (名工大院工) ○笠川 恭佑・飯國 良規・大谷 肇

Y3015 (11:30 ~ 12:30) SALDI-MSのための磁場中ガルバニ置換反応及び金属選択によるナノ構造制御 (名工大院工) ○稲本 皓己・林 孝明・飯國 良規・大谷 肇

Y3016 (11:30 ~ 12:30) 交流電磁泳動-散乱光強度変調検出に基づくマイクロ粒子のキャラクタリゼーション (名工大院工) ○横井 ひかり・飯國 良規・大谷 肇

Y3017 (11:30 ~ 12:30) SPG膜乳化法を用いる固相抽出に好適な均一径ポリマー吸着剤合成法の開発 (愛知工大) ○三木 雄太・村上 博哉・井上 嘉則・手嶋 紀雄

Y3018 (11:30 ~ 12:30) 抗体精製を目的とした温度応答性HPLCカラムの開発 (慶大院薬) ○石井 咲樹・山田 創太・市川 大樹・長瀬 健一・服部 豊・金澤 秀子

Y3019 (11:30 ~ 12:30) シングルラウンドCE選抜を用いる巨大官能基修飾型新奇DNAアプタマーの創製 (埼玉大院理工) ○太田 和希・渡辺 峻・半田 友衣子・齋藤 伸吾

Y3020 (11:30 ~ 12:30) 第三級アンモニウム系イオン液体を用いた自動車用廃触媒からのロジウムを選択的抽出分離 (千葉大院融合理工<sup>1</sup>・千葉大院理<sup>2</sup>) ○一木 悠平<sup>1</sup>・勝田 正一<sup>2</sup>

Y3021 (11:30 ~ 12:30) 正電荷を有する温度応答性充填剤を用いたラベルフリー細胞分離法の開発 (慶大院薬) ○枝常 吾郎・山田 創太・長瀬 健一・金澤 秀子

Y3022 (11:30 ~ 12:30) CTV誘導体のSaddle型への構造変化および金属イオンやアミン類に対する認識能の評価 (阪工大工) 森内 隆代・○山森 健司

Y3023 (11:30 ~ 12:30) 遮光および除酸素下におけるジチゾンナノ繊維の退色とその抑制 (長岡技科大理工) 岡田 真樹・○堰代 大智・高橋 由紀子

Y3024 (11:30 ~ 12:30) Anthraceneにより架橋されたジボロン酸とD-グルコースの反応に関する速度論的研究 (早大院先進理工<sup>1</sup>・千葉工大工<sup>2</sup>・甲南大理工<sup>3</sup>・愛教大教育<sup>4</sup>) ○田中 玲衣<sup>1</sup>・菅谷 知明<sup>2</sup>・岩月 聡史<sup>3</sup>・稲毛 正彦<sup>4</sup>・石原 浩二<sup>1</sup>

Y3025 (11:30 ~ 12:30) 純水系溶媒を用いたHPLC-ICP-MSによる河川水中Gd錯体の化学形態別分析 (関西学院大理工<sup>1</sup>・理研SPRING<sup>8</sup><sup>2</sup>・産総研<sup>3</sup>) ○河根 怜央奈<sup>1</sup>・岩井 貴弘<sup>2</sup>・岡林 識起<sup>1</sup>・成川 知弘<sup>3</sup>・千葉 光一<sup>1</sup>・壺井 基裕<sup>1</sup>

Y3026 (11:30 ~ 12:30) ゲル電気泳動を用いるCu<sup>2+</sup>を介したHA超分子の由来が異なることによる超分子化挙動の比較 (埼玉大院理工<sup>1</sup>・東大院工<sup>2</sup>) ○中野 純佳<sup>1</sup>・松本 篤正<sup>1</sup>・丸茂 和樹<sup>1</sup>・斉藤 拓巳<sup>2</sup>・半田 友衣子<sup>1</sup>・齋藤 伸吾<sup>1</sup>

Y3027 (11:30 ~ 12:30) 可視光応答性光触媒Zn<sub>(1-x)</sub>Ca<sub>x</sub>In<sub>2</sub>S<sub>4</sub>の可視光応答性と水素生成法の向上 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○高木 雅也<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

Y3028 (11:30 ~ 12:30) Cu/WO<sub>3</sub>/TiO<sub>2</sub>光触媒を用いた硝酸イオン還元によるアンモニア生成法の開発 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育研究セ<sup>2</sup>) ○矢野 有紗<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

Y3029 (11:30 ~ 12:30) 水和鉱物の生成による有害アニオンの固定化 (鹿児島大院理工) ○園田 拓哉・伊藤 沙織・村上 風・高梨 啓和・中島 常憲

Y3030 (11:30 ~ 12:30) パルスNMRを用いたPVDF樹脂フィルム物性評価法の開発 (阪工大工<sup>1</sup>・兵庫県大院工<sup>2</sup>) 森内 隆代<sup>1</sup>・○坂田 航<sup>1</sup>・藤森 啓一<sup>1</sup>・浦濱 圭彬<sup>2</sup>

Y3031 (11:30 ~ 12:30) 劣化油脂中の遊離脂肪酸及び水分と極性化合物価の関係 (山形大院理工<sup>1</sup>・山形大工<sup>2</sup>・米沢栄養大<sup>3</sup>・アルセ・エコ<sup>4</sup>) ○國司 涼平<sup>1</sup>・佐々木 貴史<sup>2</sup>・江口 智美<sup>3</sup>・有瀬 功<sup>4</sup>・有瀬 美佳<sup>4</sup>・遠藤 昌敏<sup>1</sup>

Y3032 (11:30 ~ 12:30) 農作物中のカビ毒オクラトキシンAの蛍光検出HPLC測定のためのウシ血清アルブミンによる迅速精製法 (中部大応生<sup>1</sup>・東海大理<sup>2</sup>) ○石橋 朋也<sup>1</sup>・大和 直樹<sup>1</sup>・富沢 千明<sup>1</sup>・山本 良平<sup>1</sup>・山本 敦<sup>1</sup>・小玉 修嗣<sup>2</sup>

Y3033 (11:30 ~ 12:30) キャピラリー LC/MS/MSを用いた超高速定量プロテオミクスの検討 (京大院薬) ○富岡 亮太・小形 公亮・杉山 直幸・石濱 泰

Y3034 (11:30 ~ 12:30) ルテニウム-白金複合錯体を鋳型特異的に放出するDNAプローブの合成とその遺伝子解析への応用 (熊本大院先端) ○小嶋 美鈴・北村 裕介・勝田 陽介・井原 敏博

Y3035 (11:30 ~ 12:30) 細胞内microRNAの高感度検出を目的とした新規リボスイッチの開発 (熊本大先端<sup>1</sup>・京大化研<sup>2</sup>) ○吉田 翔<sup>1</sup>・勝田 陽介<sup>1</sup>・北村 裕介<sup>1</sup>・佐藤 慎一<sup>2</sup>・井原 敏博<sup>1</sup>

Y3036 (11:30 ~ 12:30) オリゴヌクレオチド分離のための温度応答性アニオン交換クロマトグラフィーの開発 (慶大院薬) ○山崎 開智・前川 祐太郎・井原 美和・長瀬 健一・金澤 秀子

Y3037 (11:30 ~ 12:30) シングルステップ定量検出を可能にする生物発光型ラテラルフローイムノアッセイ (慶大<sup>1</sup>・Eindhoven University of Technology<sup>2</sup>) ○川原 淳之介<sup>1</sup>・三澤 和史<sup>1</sup>・蛭田 勇樹<sup>1</sup>・Maarten Merckx<sup>2</sup>・Daniel Citterio<sup>1</sup>

Y3038 (11:30 ~ 12:30) 染料分解とCO<sub>2</sub>還元電気化学的同時処理システムの開発 (三重大院工<sup>1</sup>・三重大国際環境教育センター<sup>2</sup>) ○佐藤 和俊<sup>1</sup>・古川 真衣<sup>1</sup>・立石 一希<sup>2</sup>・勝又 英之<sup>1</sup>・金子 聡<sup>1,2</sup>

## 一般・テクノレビューポスター P会場

### 第二日 (9月17日)

P2101 (13:30 ~ 14:30) spICP-MSによるセラミックス製品の洗浄度評価～固相抽出による溶存イオンとナノ粒子の分離手法の開発II～ (京セラ) ○山下 真弘・後藤 拓也・中西 将太・関 広美

P2102 (13:30 ~ 14:30) 水素化物発生/ネプライザー複合システムを用いたICP-OESによるAs, Se, Cd等の同時分析 (日立ハイテクサイエンス) ○夏井 克巳・添田 直希・美川 真奈・並木 健二・坂元 秀之

P2103 (13:30 ~ 14:30) 多孔質シリカを用いた多環芳香族炭化水素の剛性状態スペクトル測定 (東京都立産技研セ) ○藤巻 康人・林 孝星・渡辺 洋人

P2104 (13:30 ~ 14:30) フェノール・次亜塩素酸塩との反応と吸光度測定を利用した過酸化水素の定量 (東海大理) ○三上 一行・大竹 祐美

P2105 (13:30 ~ 14:30) エネルギー分散形蛍光X線分析法を用いた医薬品中の微量元素の迅速分析 (日立ハイテクサイエンス) ○泉山 優樹・深井 隆行・土屋 恒二・辻川 葉奈・工藤 志緒・関 雄太・大柿 真毅

P2106 (13:30 ~ 14:30) 酸化鉄(III)の電気化学的溶解に対する凍結効果 (東工大院理) ○土井 美野里・原田 誠・岡田 哲男

P2107 (13:30 ~ 14:30) フォトクロミズムによる応答 on/off 差分検出に基づくオプティカルセンサの開発 (富山大院理工(工)) ○本山 祐・菅野 憲・遠田 浩司

P2108 (13:30 ~ 14:30) 角度に依存しない構造発色性ゲルを用いた化学センサーの開発 (富山大院理工) ○池戸 祐太郎・菅野 憲・遠田 浩司

P2109 (13:30 ~ 14:30) グルコースセンサ用レセプター感受性近赤外吸収 aza-BODIPY 色素の開発 (富山大) ○水上 泰斗・菅野 憲・遠田 浩司

P2110 (13:30 ~ 14:30) 逆相 HPLC 法による無機陰イオン分析 (富山衛研<sup>1</sup>・東海大理<sup>2</sup>・中部大応生<sup>3</sup>・愛工大工<sup>4</sup>・金沢大環日本海域環境研究セ<sup>5</sup>) ○健名 智子<sup>1</sup>・小玉 修嗣<sup>2</sup>・山本 敦<sup>3</sup>・井上 嘉則<sup>4</sup>・早川 和一<sup>5</sup>

P2111 (13:30 ~ 14:30) 水溶性ホウ素の分離・回収・比色検出機能をあわせもつ三元ハイブリッド機能樹脂の開発 (甲南大理工) ○岩月 聡史・増井 愛恵・日野 由梨

- P2112 (13:30 ~ 14:30) 酸化ジルコニウムナノ流体中の水のダイナミクス (福岡大理<sup>1</sup>・CROSS<sup>2</sup>) ○吉田 亨次<sup>1</sup>・松浦 直人<sup>2</sup>
- P2113 (13:30 ~ 14:30) 南極ドームふじ基地氷床コアから得られた19世紀の降水に対応する試料の硫黄同位体比分析 (理研<sup>1</sup>・国立極地研<sup>2</sup>) ○高橋 和也<sup>1</sup>・中井 陽一<sup>1</sup>・Yu Vin Sahoo<sup>1</sup>・本山 秀明<sup>2</sup>・望月 優子<sup>1</sup>
- P2114 (13:30 ~ 14:30) 海水中施肥による製鋼スラグ堆肥混合物中の腐植酸の構造変化: EEM及び蛍光検出HPSECによる検討 (金大環日セ<sup>1</sup>・東大院農<sup>2</sup>・東大院総文<sup>3</sup>・有明高専<sup>4</sup>) ○岩井 久典<sup>1</sup>・山本 光夫<sup>2</sup>・松尾 基之<sup>3</sup>・劉 丹<sup>4</sup>
- P2115 (13:30 ~ 14:30) トンネル内環境放射線量の変動に関する一考察 (高知県大健栄<sup>1</sup>・中部大応生<sup>2</sup>・北陸大薬<sup>3</sup>・国立科学院生活環境<sup>4</sup>) ○小林 淳<sup>1</sup>・畠中 麻弥<sup>1</sup>・田中 守<sup>2</sup>・池田 啓一<sup>3</sup>・杉山 英男<sup>4</sup>
- P2116 (13:30 ~ 14:30) めっき排水中の窒素系成分の無害化と再資源化に関する研究 (名古屋市工研) ○林 朋子・柴田 信行・石垣 友三・木下 武彦・岸川 允幸・大岡 千洋
- P2117 (13:30 ~ 14:30) 動物の硬組織中<sup>90</sup>Sr測定のためのICP-MSの測定条件最適化 (日本原子力研究開発機構<sup>1</sup>・福島大<sup>2</sup>) ○小荒井 一真<sup>1</sup>・松枝 誠<sup>1,2</sup>・青木 譲<sup>1,2</sup>・柳澤 佳代<sup>2</sup>・藤原 健壯<sup>1</sup>・寺島 元基<sup>1</sup>・北村 哲浩<sup>1</sup>・阿部 寛信<sup>1</sup>
- P2118 (13:30 ~ 14:30) 秋期田園地帯におけるPCBs,PeCBz及びHxCBzの日間変動とその汚染由来解析 (道総研<sup>1</sup>・阪大<sup>2</sup>・統計数理研<sup>3</sup>) ○姉崎 克典<sup>1</sup>・中野 武<sup>2</sup>・柏木 宣久<sup>3</sup>
- P2119 (13:30 ~ 14:30) グルタチオンで表面修飾されたCdSe/ZnS量子ドットによる蛍光キラルセンシング (旭川高専<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>) ○中島 優作<sup>1</sup>・梅田 哲<sup>1</sup>・津田 勝幸<sup>1</sup>・佐藤 敏文<sup>2</sup>・覚知 豊次<sup>2</sup>・堺井 亮介<sup>1</sup>
- P2120 (13:30 ~ 14:30) Permeability assay of cells using LSI devices (東北大GSES<sup>1</sup>・東北大院工<sup>2</sup>・東北大FRIS<sup>3</sup>) ○Hao Jen Pai<sup>1</sup>・伊野 浩介<sup>2</sup>・梨本 裕司<sup>2,3</sup>・珠玖 仁<sup>2</sup>
- P2121 (13:30 ~ 14:30) GC/MSによる細胞培地中のジメチルスルホキシドの高感度分析 (東レリサーチセンター) ○杉浦 啓方・秋永 礼以子
- P2122 (13:30 ~ 14:30) 残留粘着物質を指標とした古紙製品の異同識別検査法の検討 (愛知県警科捜研) ○岩井 悠樹・伊藤 健次郎・奥山 修司
- PT2123 (13:30 ~ 14:30) アフターコロナに純水装置・超純水装置に求められる要件 (エルガ・ラボウォーター) ○黒木 祥文
- PT2124 (13:30 ~ 14:30) IC-MS/MSを用いた食品中の臭素酸の分析 (サーモフィッシャーサイエンティフィック) ○佐藤 万由子・李 卉・鈴木 隆弘
- PT2125 (13:30 ~ 14:30) IC-MS/MSを用いた食品中高極性農薬の定性分析 (サーモフィッシャーサイエンティフィック) ○李 卉・鈴木 隆弘・齊藤 香織・佐藤 万由子
- 第三日 (9月18日)**
- P3101 (13:30 ~ 14:30) タンニン酸担持キレート樹脂固相抽出カラムを用いた環境水中アンチモンの原子吸光分析 (日立ハイテクサイエンス) ○山本 和子・坂元 秀之・白崎 俊浩
- P3102 (13:30 ~ 14:30) 模擬汗を用いたニッケル化合物の経皮ばく露評価の検討 (労働安全衛生総研) ○韓 書平・鷹屋 光俊
- P3103 (13:30 ~ 14:30) プラスチックの劣化評価における分光分析の活用 (日立ハイテクサイエンス) ○岩谷 有香・中尾上 歩・堀込 純・坂元 秀之・白崎 俊浩
- P3104 (13:30 ~ 14:30) 銀薄膜/銅塩水溶液界面での可視レーザー照射エッチング (埼玉大院理工) ○二又 政之
- P3105 (13:30 ~ 14:30) 廃電子基板の固体分析前処理法の検討 (名古屋市工研) ○柴田 信行・浅野 成宏・野々部 恵美子・大橋 芳明
- P3106 (13:30 ~ 14:30) 近赤外発光ランタノイドアップコンバージョンナノ粒子 (UCNPs) の合成とセンサへの応用 (富山大院理工) ○草島 佳紀・菅野 憲・遠田 浩司
- P3107 (13:30 ~ 14:30) 次亜塩素酸濃度を信号機式色調変化により表示する薄膜の作製 (北見工大<sup>1</sup>・北見工大院<sup>2</sup>) ○兼清 泰正<sup>1,2</sup>・宮ヶ野 直樹<sup>1</sup>・三島木 葉月<sup>1</sup>・三谷 裕<sup>2</sup>
- P3108 (13:30 ~ 14:30) 2級アミンモノマーを用いたタンパク質センシング材料の開発 (神戸大院工) ○砂山 博文・竹内 俊文
- P3109 (13:30 ~ 14:30) 高分子試薬を用いるナトリウムイオンの検出 (山口大教育機構<sup>1</sup>・山口大理<sup>2</sup>・山口大院創成科学研<sup>3</sup>) ○藤原 勇<sup>1</sup>・松村 颯香<sup>2</sup>・村上 良子<sup>3</sup>
- P3110 (13:30 ~ 14:30) STQ法による漢方処方エキス中残留農薬の分析法の検討 (クラシエ製薬漢方研) ○吉見 嵩志・小此木 明・高橋 隆二
- P3111 (13:30 ~ 14:30) LVSEP-FASI法による非水系キャピラリーゲル電気泳動の高感度化 (弘前大院理工) ○北川 文彦・青山 丈一郎・若城 慎一郎・糠塚 いそし
- P3112 (13:30 ~ 14:30) イオン液体抽出物を高分子化するモレキュラーインプリンティング (甲南大理工) ○山本 諒・大下 宏美・岩月 聡史・茶山 健二
- P3113 (13:30 ~ 14:30) 土壌から分離した微生物による金ナノ粒子の生成機構の解明とその特性評価 (東大院農<sup>1</sup>・ジバング<sup>2</sup>) ○唐 冬林<sup>1</sup>・加藤 由悟<sup>1</sup>・張 定坤<sup>1</sup>・安藤 司<sup>2</sup>・亀田 学<sup>2</sup>・鈴木 道生<sup>1</sup>
- P3114 (13:30 ~ 14:30) アルギン酸コーティングGF/Fを用いた溶存鉄の膜分離と褐藻成熟における鉄生物利用性 (金沢大環日セ) ○岩井 久典
- P3115 (13:30 ~ 14:30) 環境水中微量希土類元素の簡便・迅速濃縮法の開発と環境試料の分析への適用 (金沢大総合技術部<sup>1</sup>・金沢大理工<sup>2</sup>) ○南 知晴<sup>1</sup>・眞塩 麻彩実<sup>2</sup>・長谷川 浩<sup>2</sup>
- P3116 (13:30 ~ 14:30) 東シナ海におけるイカ類の水銀の生体濃縮と器官の分布 (東京海洋大<sup>1</sup>・マイルストーン ゼネラル<sup>2</sup>・環境科学技術研<sup>3</sup>) ○田中 美穂<sup>1</sup>・風間 仁美<sup>1</sup>・山口 義尊<sup>1</sup>・金子 直樹<sup>2</sup>・水嶋 宏之<sup>2</sup>・高久 雄一<sup>3</sup>・土屋 光太郎<sup>1</sup>
- P3117 (13:30 ~ 14:30) セミアクティブエアサンプラーと網羅分析手法による災害・事故発生時に環境中に残留する化学物質のモニタリング手法開発 - データ抽出方法の検討 - (国立環境研) ○家田 曜世・高澤 嘉一・橋本 俊次
- P3118 (13:30 ~ 14:30) 大気中有害化学物質の探索的・迅速サンプリング手法の検討 (国立環境研) ○高澤 嘉一・家田 曜世・橋本 俊次
- P3119 (13:30 ~ 14:30) 四国山岳地域で採取した降雨中に含まれるNiおよびV (徳島大院社産理工<sup>1</sup>・徳島大院創成科学<sup>2</sup>・徳島大理工<sup>3</sup>) ○山本 祐平<sup>1</sup>・村瀬 遼亮<sup>2</sup>・岡 健太郎<sup>3</sup>・今井 昭二<sup>1</sup>

- P3120 (13:30 ~ 14:30) 高感度ラジアル測光方式を搭載した ICP-OESを用いたアルコール飲料中の微量元素分析の検討 (日立ハイテクサイエンス) ○添田 直希・美川 真奈・夏井 克巳・並木 健二・坂元 秀之
- P3121 (13:30 ~ 14:30) ピペットチップ型センシングシステムによるバイオマーカーの高感度検出 (神戸大院工<sup>1</sup>・システム・インスツルメンツ<sup>2</sup>) ○高野 恵里<sup>1</sup>・志村 宣明<sup>2</sup>・鶴嶋 善久<sup>2</sup>・砂山 博文<sup>1</sup>・竹内 俊文<sup>1</sup>
- P3122 (13:30 ~ 14:30) メチルオレンジ-パラジウムシクロメタル化錯体 (MOP) 試験紙のシアン化物イオンおよび硫化物イオンへの選択的挙動 (京都府警科捜研<sup>1</sup>・近畿大薬<sup>2</sup>) ○森川 泰裕<sup>1</sup>・西脇 敬二<sup>2</sup>・仲西 功<sup>2</sup>・鈴木 茂生<sup>2</sup>
- PT3123 (13:30 ~ 14:30) ヘッドスペース-GC/MSを用いた核酸中の残留ベンゼンの高感度分析 (東レリサーチセ) ○秋永 礼以子